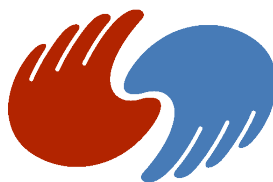




大和市民活動センター 20年のあゆみ



あの手この手で考えて



あの手この手で楽しもう

拠点やまと

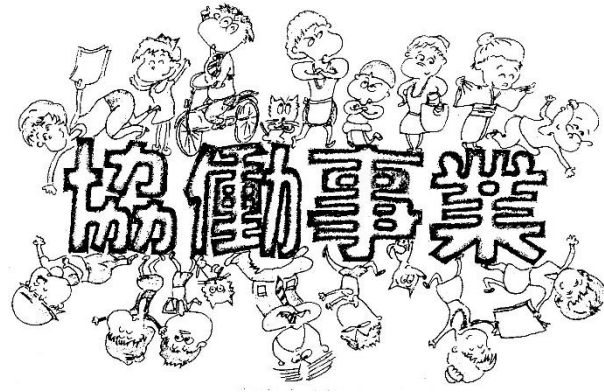


目次

設立 20 周年に寄せて	01
大和市民活動センター概要	03
＜相談事業＞ 市民活動相談	05
＜相談研修事業＞ 活動相談	06
中高生 夏のボランティア体験 このゆびとまれっ！	07
＜情報の収集と発信＞ 広報紙「あの手この手」	09
FM やまと ～やまとっこ☆みつけた～	11
広報（HP・ニュースレター・SNS、掲示板等）	13
カッコフェスタ	15
共育セミナー	17
施設の活用	19
市民活動ブース「部室」管理運営	21
お祝いメッセージ	23
データでふりかえる 20 年	27
登録団体の活動分類・内容が変わってきています！	27
何人くらいの人たちが来館されているのでしょうか？	28
このゆびに何がとまるの？「このゆびとまれっ！」	28
会議室の活用時間 どの曜日が多いかな？	29
FM やまと 出演回数の多い団体は？	29
こんな「カッコちゃん」も木にとまっていたんだ♪	30
確か？ 英語版「このゆびとまれっ！」活動記録冊子も…	30
FM やまと ～やまとっこ☆みつけた～ 参加団体イラスト	31
日頃からの“ファイリング”はスキル！	31
昔のセンター（皆で作った“プレハブ”センター）	32
みんなで共に学び みんなで共に育つ！	33
“拠点やまと”メンバーの思い出	37



設立20周年に寄せて



大和市長 古谷田 力

市民活動センター設立 20 周年おめでとうございます。

「共に育ち合える、みんなが共生するまち大和市」の拠点である市民活動センターの皆様には、20年の長きにわたり、市民・市民団体・NPO 法人・事業者・行政など、市民活動に関わるすべての人の交流や「共育（ともいく）」の推進に取り組んでいただき、感謝申し上げます。

市民活動は、地域の「つながり」を深める重要な要素であり、新しい総合計画における将来都市像「みんながつながる健康都市やまと」の実現に向けた大きな原動力となります。

これからも地域のニーズに応じた多様なプログラムや支援を通じて、市民同士の交流や協力を促進していただき、地域の「つながり」を育む場として、なお一層のご活躍を期待しております。



元大和市協働推進会議委員 河崎 民子

「大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例」制定過程とその後の機能創設に関わらせていただきました。条例づくりには「玉川まちづくりハウス」の林泰義氏（昨年亡くなられた）と伊藤雅春氏が参加しておられ、「新しい公共」という概念・息吹を吹き込んでくださいました。私の現在の活動もここが原点になっています。

今後の市民活動センターに要望したいことは2つ。1つは、もっと市民の目につきやすい＆行きやすい場所に移設するよう働きかけること。もう1つは、昨年の地方自治法改正で「指定地域共同活動団体」制度が創設されたことに伴う対応です。指定団体には様々な恩典・支援が与えられるので、地縁団体のみでなく NPO も指定団体になれるよう市の条例づくりに参画してほしいです。

元拠点やまと会長 石川 美恵子

市民活動センターのオープニングセレモニーで、当時の市長が「大和市は協働事業のトップランナーです」と誇らしげに挨拶したのを聞いて、ワクワク感を覚えたのを思い出します。

プレハブの建物でスタートした当初は、協働事業が何なのかよく分からない状況でしたが、市民活動課職員の熱い思いと共に活動できたことが貴重な体験となりました。

イキイキと市民活動をしている魅力的な人たちとの出会いが何よりも楽しく、得した気分になったのを覚えています。

東日本大震災の1年後、藤沢の市民活動団体が放射能の心配の無い鎌倉、江の島で過ごしてもらいたいとの思いで被災した親子を招いた活動。その翌日の昼食を大和市民活動センターで引き受けてもらえないかと打診され、快諾したものの「ただ食事をするだけではね～」と頭をひねったところ、中央林間のツリーガーデンの運営活動をしている方たちがピザ窯でピザを焼いてくださることになってひと安心。我々スタッフも火起こしをして、さつま芋とマシュマロを焼いて喜ばれたことが忘れられません。中間支援施設としての役割を果たせた一例です。

これからも市民活動センターがあってよかった、と思っただけの存在であり続けてほしいと願っています。



元市民活動課職員 豆塚 登美子

20周年おめでとうございます。

協働が始まりいろいろな困難がありながらもセンターの運営が始まり、会議では激論が交わされ参加する方達の本気度を日々感じていました。

センターの広報誌「あの手この手」の編集会議では市民活動を知ってもらうため、文字通りあの手この手でメンバーと誌面構成を考えたことが思い出されます。

走りながら考えるとして始まった協働、時に立ち止まり振り返ることができるくらいの時間が流れましたが、初心を忘れず新しいことに挑戦できる市民活動センターでいてください。

更なる飛躍を期待しています。



拠点やまと 監事

小林 仁

2024年11月に20周年を迎えた大和市民活動センター。

旧大和商工会議所横で「大和市」の市民活動を支える組織として活動を進め、最も大きなイベント、「カッコーフェスタ」の開催に右往左往していたことが思い出されます。

時代が進み、社会の変化に伴い、市民のニーズも変わって、市民活動の在り方も変化している昨今ですが、大和市民活動センターの誕生に関わってきた方々、センターの活動をここまで支えてきた人々、これらの方々が繋いで来た「共育」の精神が、今後も変わることなく、人々に繋がっていき、～困ったことがあったら手を差し伸べられる場所～として、これからも大和市民活動センターが、「明るく、楽しく、前向き」に進んで行くことを願っている。



大和市民活動センター概要



◆大和市民活動センターは『大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例』に謳われた「新しい公共」を創造し、大和市における社会資源の充実を図るための「協働の拠点」として2004年11月に設置され20年を迎えました。

あらゆる分野の市民活動を推進し、市民活動団体会い・つながり、共に育つ“共育”する場を提供しています。



※新しい公共とは、行政だけで公共を担うのではなく、市民・市民団体・事業者・行政など、地域に関わるすべての人の知恵や力を出し合いながら、地域の公共的課題を発見し、解決して行こうという考え方です。



◆大和市民活動センターは大和市と市民活動団体〔拠点やまと〕による、協働事業として運営しています。市民活動団体が、出合い・つながるために〔拠点やまと〕は市民の息づかいをとらえるアンテナの役割を果たします。市民と行政の専門性を出し合って課題解決に臨めば、未来を生み出す社会資源“市民の力”を十分に引出すことが可能になります。「協働の拠点」となる大和市民活動センターが、まさに協働によって運営されていることに大きな意味があります。

◆運営の変遷

2004年（平成16年11月）

協働事業として大和市民活動センター設立

「協働の拠点運営委員会 x17 委員」

（協働推進会議委員 x3 名、協働の拠点準備会委員 x3 名、公募市民 x10 名、事務局長 x1 名）事務局：スタッフ x4 名

「市民活動課」との協働事業スタート。

市民活動課は「協働の拠点運営委員会会議」に参加



2008年（平成20年4月）名称を〔拠点やまと〕に変更

2008年（平成20年度）補助金交付団体として

大和市民活動センターを管理運営

協働の拠点運営委員有志と事務局スタッフ有志で2008年に設立した〔拠点やまと〕は市民活動を推進し、市民活動団体を支援する市民活動団体です。

2009～2011年度（平成21年度～平成23年度）第1期 協働事業 市民活動課／拠点やまと

2012～2014年度（平成24年度～平成26年度）第2期 協働事業 市民活動課／拠点やまと

2015～2017年度（平成27年度～平成29年度）第3期 協働事業 市民活動課／拠点やまと

※ 2018年（平成30年度4月）ベテルギウス（旧市立図書館）に移転

2018～2020年度（平成30年度～令和02年度）第4期 協働事業 市民活動課／拠点やまと

2021～2023年度（令和03年度～令和05年度）第5期 協働事業 市民活動課／拠点やまと

2024～2026年度（令和06年度～令和08年度）第6期 協働事業 市民活動課／拠点やまと

◆事業 20 年の実績

① 市民活動に関する交流と共育の推進

- ・ **ティーパーティ** (2005・2006 年度) 18 回開催
- ・ **おしゃべりラウンジ・パルス** (2007 年度) 8 回開催
- ・ **キャンドルナイトラウンジ** (2007 年度) 5 回開催
- ・ **やまと国際交流フェスティバル** (2009～2014 年) 5 回参加
- ・ **登録団体交流会** 7 回開催
- ・ **市民活動団体交流会 “カッコーフェスタ”** 19 回開催
 ※13 回 (2018 年) からはベテルギウスまつりの一環として開催
 ※コロナ禍 (2020, 2021 年) では動画で団体紹介をする「WEB カッコーフェスタ」開催
- ・ **市民交流カフェ** (20 周年記念事業) 毎月第 1 土・第 3 水
 2024 年 6 月～ 参加者：延べ 450 名



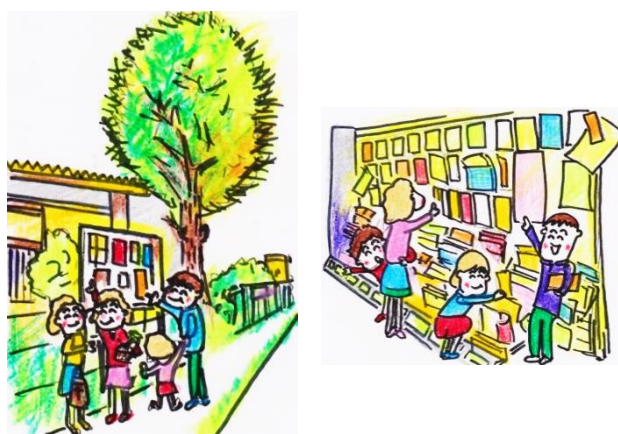
② 市民活動に関する情報の収集及び提供

- ・ 広報紙「**あの手この手**」 210 号発行
- ・ **ニューズレター** 239 回配信
- ・ **ホームページ**の維持管理
- ・ **SNS** (Facebook/Instagram) の活用
- ・ **マスメディア**の活用
FM やまと「やまとっこ☆みつけた」
 2007 年 12 月から 471 回放送



③ * 社会資源の創出及び発信

- * **ボランティア活動コーディネーター** 随時
- * **夏の子ども交流週間** 2009 年実施
- * **子ども交流クリスマス会**
 (2009 年～2014 年) 6 回実施
- * 夏休み中・高校生ボランティア体験
「このゆびとまれっ！」
 2009 年夏から 13 回実施
 (2020～2022 年コロナ禍により中止)



④ 市民活動及び協働事業に関する相談や研修

- ・ **相談** (随時)
- ・ **共育セミナー** 110 回実施

⑤ 市民活動促進のための施設及び設備の提供 (集計後 誤差を丸めています)

来館者数	登録団体更新数	会議室利用件数	多目的ルーム利用件数	印刷機利用件数
210,000 人	210 団体/年	12,000 件	3,000 件	7,000 件

⑥ 市民活動ブース「部室」の管理

2018 年度より市民活動団体及び市民の活動支援・場の提供として、ベテルギウス館内の 51 部屋を用意する。





<相談事業> 市民活動相談



市民活動推進補助金申請 協働事業提案

事前相談から協議まで、大和市民活動センターが伴走します

市民活動推進補助金

- 11月中旬～1月上旬 企画書提出期間
- 11月中旬～1月下旬 **協議期間**
- 1月下旬 申請期間
- 3月上旬 公開プレゼンテーション
- 5月 補助金交付



協働事業提案

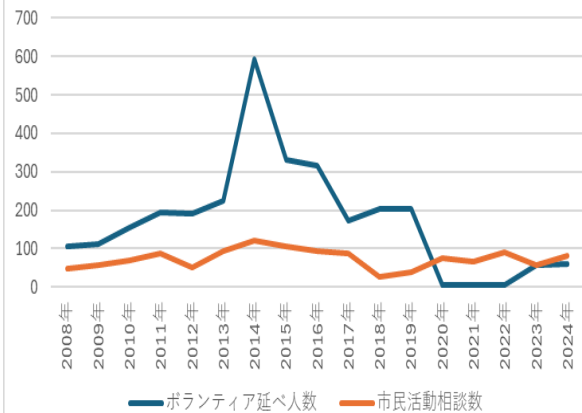
- 3月中旬～4月中旬 企画書提出期間
- 4月～5月上旬 **協議期間**
- 5月上旬 申請期間
- 5月下旬～6月上旬
事業担当課との顔合せ
- 6月下旬 協働推進会議への諮問
- 6月下旬 公開プレゼンテーション
- 8月上旬 協働推進会議からの答申
- 8月下旬 結果発表
(次年度より事業開始)

市民活動相談は常時受け付けています！

「相談事業」は市民活動センターの大きな柱です。窓口を通して、またメールやインターネットを通しても行っています。“NPOの立ち上げ・申請”などの話し合いの必要な相談や「ちょっとPCが動かないけど…」「イベントのチラシや印刷などどうすれば…」活動を始めたばかりの団体などから幅広く相談が持ち込まれます。

「このゆびとまれっ！」に代表されるボランティア活動の参加延べ人数と動向をグラフで重ねると特性が見えます。コロナ禍の中でも「相談事業」は留まること無く活動しています。

ボランティア活動(延べ人数)と市民活動相談数



たとえば、こんな相談がありました

- NPO 法人と一般社団法人のどちらがよい？設立手順を知りたい。
- 障害を持った人たちへの余暇支援をしたい。
現在は一人、仲間はいない。障害を持った人からは参加費をもらいづらいので、資金集めに補助金、助成金も考えている。もしもの時の保険も心配。
- これまで法人住民税を支払ってきたが、当 NPO 法人は収益事業者になるのか知りたい。
- 子ども食堂をしているが横のつながりが全く無い。活動団体同士の話し合いの場を持ちたい。



コロナ禍で...

- NPO 法人事業が停滞している。5年先 10年先を見据えて、運営を見直していきたいので、アドバイスが欲しい。
- ハイブリッド方式で総会を開きたい。
- 動画を制作したい。



<相談研修事業> 活動相談



相談研修事業 ・ 行政との協働事業の推進

大和市協働事業

大和市の事業として行っているこのプログラムに提案希望の団体に対して市民目線でのアドバイスを行っています。その過程で団体との相談ステップを設け意見交換を行います。

市民活動推進補助金事業

協働事業提案同様、この大和市の事業に対して中間支援団体の立場からアドバイスを行います。関連した相談や協議の場を設けます。

相談・支援事業

一般の市民・団体に対して常時“窓口”開けての事業です。「市民活動相談」「市民活動団体支援」「活動マッチング」など

情報発信事業

団体の活動拡大の支援として「情報交差点」イベントチラシを毎月の広報紙「あの手この手」に同封して、配送するサービスシステムを行って活動拡大の支援をしています。

協力・後援事業 活動推薦事業

団体主催のイベントに対する後援事業
企業の行っているプログラムに対する支援や推薦

その他、研修・セミナー参加を通して スタッフのスキルアップ他 県内外の市民活動センター間の情報交換、ネットワーク拡大を目指しています。



<ボランティア> 活動相談



ボランティア相談には幅広い年齢の方がいらっしゃいます。

その想いも様々で、「定年したので地域活動してみたい。」「社会との繋がりを持ちたい。」中には「受験前に内申書に記入したいから」と正直に打ち明けてくれる学生も。

でも、私は入り口はどこからでも良いと思っています。



ボランティアに参加するまでは気づかなかったことを知り、活動の場で得られた喜びや感動はこれまでの日常生活に変化をもたらすでしょう。人との繋がりによって体験する喜びは社会で生かされていく自分の視野を広めてくれるかもしれません。

はじめは勇気が要るのですが、まずドアをノックしてみたいと思います。ご自身に合ったボランティアにお繋ぎできたらと思っています。





中高生 夏のボランティア体験 このゆびとまれっ！



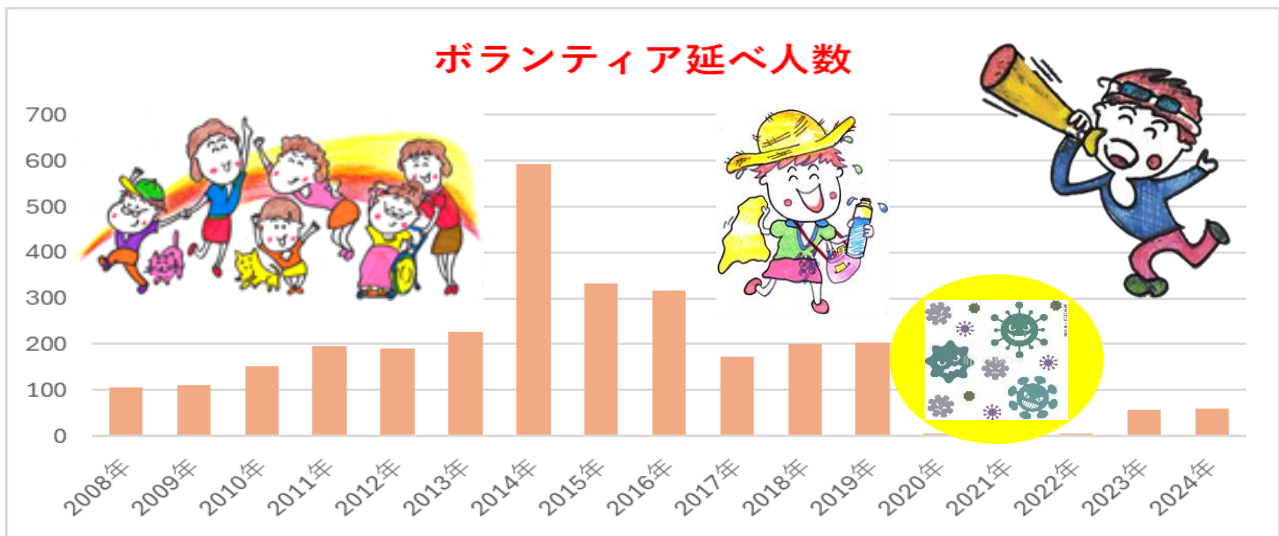
ボランティア活動支援

「このゆびとまれっ！」

中高生中心のボランティア希望者と市民活動団体の橋渡しとなる事業で中高生が学校の先生や家族以外の大人と親交を持ち、社会と関わることで多様性を認識することを活動目的としています。

「ボランティア活動相談」

一般のボランティアコーディネーターはじめ、シニア世代のボランティア希望者と市民活動団体のマッチング事業などを常時行っています。また市民活動課主催の「出張ボランティア」に加わって“ボランティアに関する意見・情報交換会”も行っています。



上の図はボランティア活動の人数（延べ人数）を表したものです。＜日常のボランティア活動＞と主に中高生を対象に毎年＜夏休みに行うボランティア活動「このゆびとまれっ！」＞を合わせています。データをまとめて、グラフ上の大きな凹凸にあらためて驚きます。これは当時、学校側の“ボランティア点数”“ボランティア習得過程”などが授業に組み込まれていて、また集団で大勢が参加したケースが重なった為です。現在は個人的に自分の意志で、ボランティア活動の“キッカケ”作りを学ぶ本来のボランティア活動形態となってきています。



ボランティア活動人数

総動員数	ボランティア活動人数	
	定期的活動	このゆびとまれっ！
2008年	80	25
2009年	82	29
2010年	105	48
2011年	90	105
2012年	98	94
2013年	57	169
2014年	244	349
2015年	148	184
2016年	178	139
2017年	89	84
2018年	86	116
2019年	59	145
2020年	6	—
2021年	4	—
2022年	5	—
2023年	12	46
2024年	10	49

このゆびとまれっ！

夏の中高生活動	このゆびとまれっ！	
	受入団体	学校数
2008年	6	12
2009年	6	10
2010年	9	14
2011年	10	12
2012年	11	13
2013年	10	15
2014年	12	22
2015年	10	11
2016年	11	7
2017年	9	10
2018年	11	13
2019年	10	12
2020年	—	—
2021年	—	—
2022年	—	—
2023年	4	15
2024年	8	18

この「このゆびとまれっ！」プログラムは「社会と関わることで多様性を認識する」内容ですので受入団体>と参加生徒・学生>とのジョイントワークが必要となります。
裏方の私共も付き添い同伴を行い、「親の活動承認書」「活動保険」「日程調整」をしながらプログラムを進めました。特に受入団体>と参加者>との調整には常に時間を費やしています。
では今まで参加の受入団体>と参加者>を一覧表にしてみましょう。

WE21ジャパン大和

NPO法人 科学探検隊

げんきステーション「より道一休」

大和芸術文化振興会

デイサービス げ・ん・き

サウンドテーブルテニスクラブ

NPO法人 地域家族しんちゃんハウス

たまめし食堂

子育てほっとサロン大和たんぽぽの会

チャイルドケア

チーム ピース チャレンジャー

季の家 高座渋谷

なかよし公園

デイサービスハッピー鶴間

引地川水とみどりの会

やまと国際フレンドクラブ (YFC)

デイサービスゆらり倶楽部大和

NPO法人 サポートハウス ワン・ピース



<小学校>

大和市立南林間小学校

大和市立大和東小学校

<中学校>

大和市立渋谷中学校

大和市立光が丘中学校

大和市立引地台中学校

大和市立南林間中学校

大和市中和中学校

聖セシリア女子中学校

東洋英和女学院中学部

頌栄女子学院 中学校

<高等学校>

あずさ第一高等学校 町田キャンパス

柏木学園高等学校

県立厚木高等学校

県立相模原高等学校

県立松陽高等学校

県立大和西高等学校

県立綾瀬高等学校

県立横浜日なたやま支援学校

県立大和東高等学校

県立大和南高等学校

県立有馬高等学校

相模女子大学高等部

生蘭高等専修学校

桐蔭学園高等学校

日本大学藤沢高等学校

横浜商科大学付属高等学校

横浜創英高等学校

鎌倉女子大学高等部

県立深沢高校

県立川和高等学校

星槎高等学校

聖セシリア女子高等学校

青蘭高等学校

藤沢工科大学付属高校

<大学>

関東学院大学

慶應義塾大学

相模女子大学

湘南工科大学

日本大学

文教大学

東洋英和女学院大学

和泉短期大学

毎年恒例の「このゆびとまれっ！」 ～活動の大きな流れ～

「このゆびとまれっ！」開催期間：夏休みが始まる7月下旬～新学期が始まる8月下旬

2月頃～今年度の全体の流れ、協力していただける団体へのお願いなど準備を始めます。

3月 第1回会議（大和市社会福祉協議会大和ボランティアセンター、つきみ野学習センター、大和市民活動課、大和市民活動センター）が開かれる。

スケジュール調整には必要に応じて団体の活動日に伺い、活動内容を教えて頂きます。

その間、広報やまと掲載用記事の作成、冊子作成オリエンテーションの準備などフル回転。

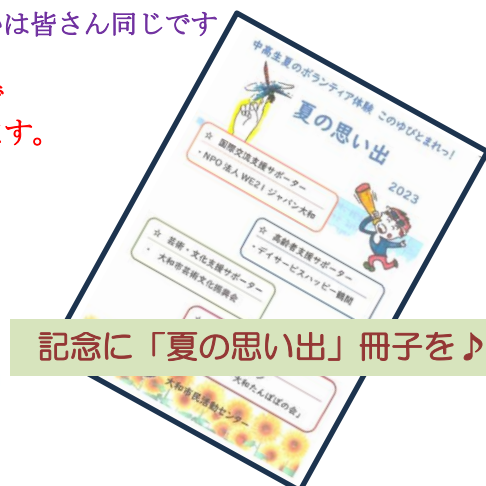
6月 PR活動として各関係部署担当者3名でFMやまとの番組、大和市民活動センターだより～やまとっこ☆みつけた～に出演します。

「このゆびとまれっ！」に向ける担当者達の想いは皆さん同じです

まずは何より安全！

そしてボランティアの喜びを体感することで

自らの新しい扉を開いて欲しいと願っています。



記念に「夏の思い出」冊子を♪



<情報の収集と発信> 広報紙「あの手この手」



市民活動に関する情報の収集や提供

広報紙「あの手この手」

「あの手この手で考えて、あの手この手で問題解決！」をモットーとして、2005年3月31日に発刊され、今号で第211号を迎えました。大和市民活動センターは、共に育ち、共に成長する共育（ともいく）の場として2004年11月に誕生した「大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例」に謳われた「協働の拠点」です。「社会資源の充実を図る」ことが設置の目的ですが、さまざまな知恵や情報が集積している、集まってくる、「共に育ち合える、みんなが共生するまち大和市」を創っていくための拠点と位置づけられています。

その中で、広報紙「あの手この手」は、市民活動、NPO活動、社会貢献活動などの情報の収集発信を紙媒体（当センターのホームページでも閲覧可能）として、直接皆さんにお届けしています。



「あの手この手」の発行頻度

創刊号(2005.3.31)～第9号 季刊
第10号(2007.10.2)～第38号(2010.3.25)
月刊
第39号(2010.5.6)～第44号(2011.3.1)
隔月刊
第45号(2011.4.1)～現在 月刊

「あの手この手へのエール」(サポーター 尾畑 翼)

広報誌「あの手この手」のコラムTSUBASA'sトーク/インタビューについて、読者の方々から感想をいただくと忘れられません。

スタッフからは、地方で食べた料理の写真について「お酒が飲みたくなった」「尾畑くんのコラムだけ読んでいく人もいる」と、少し逸れた感想から、胸を打つものまでいただきます。

先日の「影になった富士山」でも、母から「あんた人の気持ちがわかるようになったね。涙が出たよ。」と伝えられました。センターと続けて関わってきたことで、僕自身も成長してこられたのだと思います。

「あの手この手」を送っている他自治体市民活動支援センター及び民間団体等一覧(順不同)

(公財)かわさき市民活動センター	えびな市民活動センター	おだわら市民交流センターUMECO
かながわ県民活動サポートセンター	鎌倉市市民活動センター・NPOセンター鎌倉	
鎌倉市市民活動センター・NPOセンター大船	さがみはら市民活動サポートセンター	ちがさき市民活動サポートセンター
秦野市市民活動サポートセンター	ひらつか市民活動センター	藤沢市市民活動推進センター
まちづくり情報センター・かながわ	横須賀市立市民活動サポートセンター	横浜市市民協働推進センター
青葉区区民活動支援センター	釧路市市民活動センター	(社福)東京ボランティア・市民活動センター
(社福)板橋ボランティアセンター	豊中市立市民公益活動支援センター	市民活動センターあやせ
(公財)淡海文化振興財団・淡海ネットワークセンター	にのみや町民活動サポートセンター	座間市民活動サポートセンター
いせはら市民活動サポートセンター	あいかわ町民活動サポートセンター	神戸市役所地域協働局地域活性化課
ひらかた市民活動支援センター	コラボステーション福岡	認定NPO 法人大阪NPOセンター
いそご区民活動支援センター	にしく市民活動支援センター	旭区市民活動支援センター
かながわコミュニティカレッジ事務局	府中市市民活動センター プラッツ	大和市イベント観光協会
地域活動支援センターふきのとう舎	(社福)県央福祉会ワークステーション・菜の花	大和ラジオ放送(株)FM やまと
(社福)徳寿会晃風園	デイサービス草柳	障がい福祉サービス事業所継続就労支援B型NPO法人共働あるむ
(特非)アシストやまと	(株)タウンニュース社	千葉県環境生活部県民生活・文化課 (有)さがみ水産
介護のハッピー合同会社	パソコン楽々塾	ギャラリー南製作所 認定NPO 法人アール・ド・ヴィーヴル
ゆりり倶楽部大和	(特非)ワーカーズ・コレクティブチャイルドケア	(一社)4Hearts 菊川市市民協働センター

現在、「あの手この手」は毎月10日の発行を目指して編集しています。発行部数は毎号400部。市民活動センターへの登録団体のほか、市内の公共施設、上記の近隣の市民活動支援センター、民間のご縁のあった団体、送付を希望する個人の方に送付しているほか、当市民活動センターのカウンターに配架しているので、手に取っていただいています。2024年10月1日から郵便料金が値上がりしたので、送付先は見直しをさせていただきました。他自治体からも情報誌をお送りいただいているので、お互いの活動や団体情報の交換手段ともなっています。

他自治体から届く広報紙も郵便料金値上げの影響で、少なくなりましたが、先進事例に触れる貴重な機会となっています。本センターの「あの手この手」もWEB上で読むことはできますが、やっぱり手に取って、編集に至った経緯とか思いを感じてほしいと思っています。

最近号の巻頭イラスト

第93号(2015.4.1発行)から、やまと国際アートフェスタ(やまと国際フレンドクラブ主催)入選作を提供いただき、掲載するようになり、現在に至っています。



現在、NHKで、「東京サラダボウル」という多文化共生の現状と課題を描いたドラマが放映されていますが、大和市はずっと以前1990年代前半から多国籍の住民が生活者として在住してきた自治体。

やまと国際フレンドクラブ(IFC)は(公財)大和市国際化協会での外国人支援ボランティア活動を基礎に、活動を広げ続けてきた団体。そんな中で、大和市教育委員会にアプローチし、小中学校の校長会の承認を得て、夏休みに制作した小中学生の絵を集めて、「やまと国際アートフェスタ」(現在は10月にシリアスギャラリーにて開催)にて展示。協賛各社から協賛金を得て、各賞を出してもらうとともに、会場に見えた子どもたちや保護者の投票で、「インターナショナル賞」等を決定していて、いまでは、学校現場の先生に感謝されるアートイベントへと成熟しています。

『ウイズコロナ、ポストコロナの時代 市民活動、NPO活動、社会貢献活動はどうあるべきか』 『先駆の人を訪ねて』は「やっぱりリアルだよ」 という思いで、「あの手この手」2021年9月号から連載をスタートさせた

2023年5月号までの1年8ヶ月、信念、想いを持ちプラスイメージを描いて実現させ、前向きに走って来た人を訪ねてお話を伺った。

さまざまな分野で活動をされている方々から熱いお話を伺いましたが、その中の共通項と言えば、その活動には、経験された苦勞を見せないということでしょう。皆さん本当にキラキラ輝き、プラスのオーラに溢れていた。会ってお話を伺っていると元気になった。

私は他市のNPO活動にも関わっているが、2021年の屋外活動(子どもたちが企画した七福神めぐり)に参加した小学校4年生のおかあさんたちが「今の小学校4年生は、コロナで集団活動ができなかったから、こういう屋外での活動が今までなかった。参加できてよかった」と話していたことを思い出した。このようなことは中学、高校、大学生も同様にあったと思うが、集団生活の中で、自我に目覚め、他者との関係性を学んでいく小学生、特に低学年にはもっとも影響が大きかったんだろうと改めて思う。一方、感染を恐れて、病院や高齢者施設においても、いまだに面会すらできないところもあると聞いた。

そんな中、人が直接会って同じ空間、時間を共有することがいかに大切であるかを今回のインタビューシリーズで伝えたかったのである。

もう一つ大事なことは、今回インタビューした8人は、結果としてみんな「新しい公共」を担っている方たちということ。役所が担えない、担わない公的サービスを意識せずにさらっと行って、その活動が自らのライフワークとなっているところもカッコイイと思った。

大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例(2002年7月1日施行)の前文につぎのようにある。

「私たちのまち大和市には、子ども、大人、障害のある人、外国籍の人などを含め多くの市民が暮らしています。市外からの通勤や通学などによる広い意味での市民もいます。そこには、市民の数だけ多様な「私」がいて、多様な価値観があります。大和市は、それらを互いに受け止め、認めあえる、誰もが自由で健やかに過ごせる地域社会でありたいものです」

(この項、あの手この手 2024年5月号より一部修正して転載)

文責：船越 英一

『 弥次喜多インタビューの振り返り 』

市民活動は座ってはいは駄目！ 共育セミナーも広報も待ってはいは駄目！ 会長は飲んでばかりいては駄目！

大和市民活動センターが動き出しました。

こちらからの“インタビュー巡り”です。準備セットアップは担当の船越、私は名刺交換とカバン持ち…とっていましたが…いざお伺いする場所、場所で“目からウロコ”で感心しきり！と言うより我が身を振り返って反省しきり！ 兎に角、迫力があります。市民活動を通じて、そして体験から出る言葉には訴えるものがありました。



また不思議にインタビューの場所、雰囲気も話の内容と一緒に忘れられないものです。「その大学生たちが…」、お寺の本堂での“紙芝居”、利用者たちの絵画に囲まれたカフェオレの薫り!!、「エッ？来週からまた海外へ？」Zoomでは味わえない体験でした。

イラスト、文章とも、望月則男



FM やまと～やまとっこ☆みつけた～



FM やまと ～やまとっこ☆みつけた～ (マスメディアの活用)

FM やまと「やまもり☆ホットスクランブル」での9:00生番組(再放送は同日3:00～) ラジオを通じて登録団体の紹介、イベント告知、仲間募集など幅広く呼び掛けることで活動を広げる機会になるのを目的としています。

「大和市民活動センター便り！」とFM やまと パーソナリティさんの合図で参加団体の皆さんの「～やまとっこ☆みつけた～」で始まる楽しいひと時!

毎月第1・3・5火曜日午前9時から大和市民活動センターの登録団体が出演して活動紹介をしていきます。

市内には数多くの活動団体があります。市民活動から生涯学習活動まで幅広い活動があることを周知していきたい。また、これから活動したい人、活動を探している方々への情報提供の場となれることも願っています。市民活動の裾野が広がり、より活動の発展に繋がるように支援していきます



FM やまと～やまとっこ☆みつけた～ 生番組出演 500回間近!

この冊子を編集していて感じました。参加された団体活動の紹介(*)などを差し置いて市民活動センター側の紹介するのは大変失礼な事とは思いますが、紙面の配分域から考えまして先に担当スタッフやこれまでの色々なエピソードを書かして頂きます。

(*) 冊子の後半 データ資料に載せます。

初代パーソナリティ
(ジョニーさん)
天沼照夫さん



2代目FM やまと
(今城謙士さん)



ようこそ! まちだまあちさん
「ミス沖縄」の歓迎色紙とセンタースタッフ

FM やまと側 担当

ジョニーさん (375回) 2007年12月4日(第1回)～2020年12月15日(第375回)
(天沼さん)

今城さん (90回) 2021年1月5日(第376回)～2024年10月28日(第465回)

まちだまあちさん 2024年11月5日(第466回)～

生放送の恐ろしさ♪

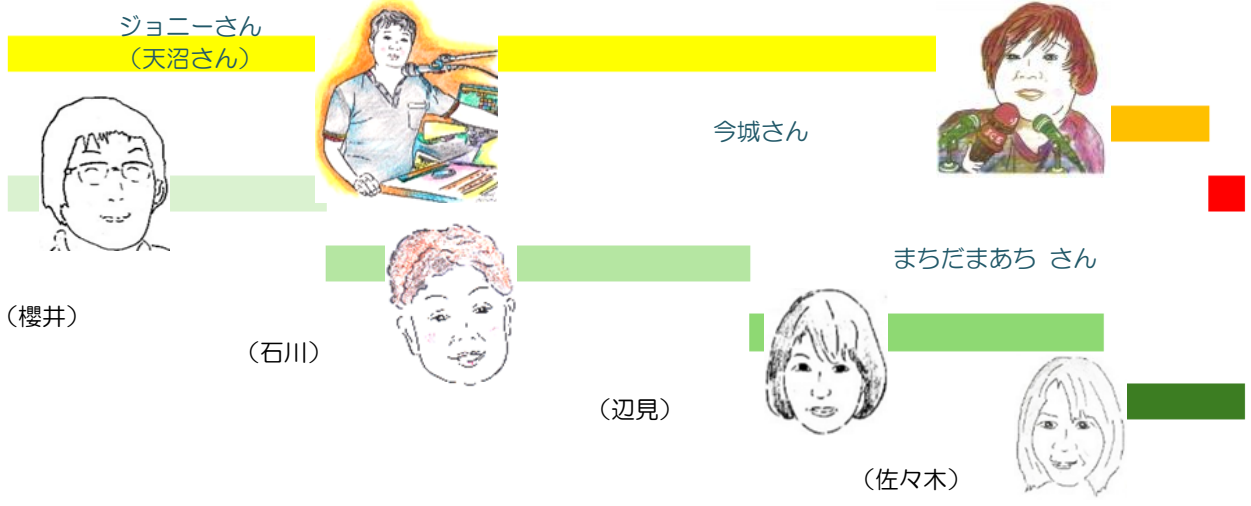
参加者からお電話で～す!

団体さんがまだ見えない!
確か連絡してあるのですが…

出演日程の変更ですか?
お世話になってま～す

「済みません、今朝 体調が…」
担当者が慌てて「会長! FM やまとに “今” 来れます?」
「FM やまと” 近くの喫茶店から “もう時間? 雪止む?”
「今どこにおられます?」
「ごめん! 連絡された待合場所の地図忘れちゃってさ…」
「出られれば出るからさ! 仮予約にしておいて?」
「うまく話せないと困からここで一度練習できない?」





~やまとっこ☆みつけた~ 時間帯

毎週火曜日 (30分) 2007年 12月 4日 (第 1回) ~ 2009年 5月 5日 (第 73回)

隔週火曜日 (60分) 2009年 5月 19日 (第74回) ~ 2023年 4月 18日 (第423回)

隔週火曜日 (30分) 2023年 5月 2日 (第424回) ~



~やまとっこ☆みつけた~ 今までお世話になった団体名などの“一覧表”を掲載したいのですが…

500行近くの“一覧表”はとても掲載できません。また出演の度に FMやまと・司会進行のパーソナリティーの方との“記念写真”や“活動紹介漫画”を並べるのは大変です！
10周年記念の際は「パネル展示会」を行って 大和市の色々な場所（市役所のロビー、学習センターなど）をまわりました。今回はA3ファイルに収めたり、市民活動センター・市民交流スペースに並べますので お立ち寄りの際は是非ご覧ください。



広報(HP・ニュースレター・SNS、掲示等)



●ホームページ

センターの広報の中心となるツールで、開設以来「ホームページの情報はいつも新鮮」をモットーに、日々更新を続けてきています。

掲載内容は

- センターの企画の案内
(共育セミナー・交流カフェなど)
- 機関紙「あの手この手」
(過去のものも読めます!)
- 会議室の利用状況
- 登録団体情報
- 登録団体や市内外のイベント情報
- 助成金情報
- FM やまと「やまとっこ☆みつけた」放送内容
(2007/12/4 第1回からの記録を掲載)



放送内容の掲載が登録団体紹介の大きなコンテンツとなっていると自負しています。

「HPで見ました」という共育セミナーの参加者があり、見てもらえているとうれしく思ったこともありました。

●SNS (Facebook・Instagram)

Facebook を使い始めたのは2014年9月13日、前の市民活動センターの写真から。10月末の「カッコフェスタ'14」のお知らせ・報告あたりから定期的に運用できるようになりました。Facebook の特性を生かして配信で500枚以上の写真がUPされています。その後、若い世代の人たちにもっと関心を持ってもらえるためにはと考えると、2020年度からInstagramも利用することにしました。大学生のサポーターに協力してもらいながら配信をスタート。「あの手この手の発行」「FM やまと出演者」登録団体の企画など、タイミングよく！と考えて配信しています。インスタグラムには139投稿。



●YouTube

コロナ禍で「カッコフェスタ'20」を中止したため、センターのホームページ上で実施する「WEBカッコフェスタ'20」を開催し、2021年2月1日から完成した動画を順次公開しました。14本の動画からスタート、年度終わり頃の再生回数は2455回。コロナ禍後も続け、現在は34本の動画が公開されています。総再生回数は9,768回(2025/1/21現在)。動画の製作には大学生の協力を得ることができ、登録団体の活動をより広く広報することができています。

●ニュースレター

配信している方々は、

- センター登録団体・個人、
- 大和市の関連団体・社協等、
- 周辺都市の市民活動センター、
- 道・出版・放送関係機関

配信希望者

配信日は、各月の25日(原則)

内容は、イベント情報等

(センター・登録団体・登録団体以外)

FM やまと出演者の報告・予告、

助成金情報、など

月に1度の配信のため、イベントや助成金情報のタイミングが合せにくいのが難点。ホームページと連携が必須で、それを心掛けています。

ニュースレターは紙ベースではないので、ページ数の制約は少ないですが、長いと読む気がそがれます。登録団体に使ってもらいやすくするにはと、助成金などの載せ方についてもスタッフでよく議論します。

●情報コーナー

センターにはいろいろな情報が届きます。登録団体等のイベントや会員募集のチラシ、助成金関連情報、子育て関連情報、近隣の活動センターの広報紙、遠方の情報なども。たくさんの情報を分かりやすく展示するために、いろいろな工夫をしています。



ベテルギウスは以前市立図書館であった建物を利用しているので、壁際には書架用の棚がたくさんあります。それを利用しての展示となりますが、奥行きが浅いのでA4のチラシを縦向きには置きにくいのです。棚の形状も様々です。段ボールやパネル板、空き箱などを使って、チラシを置きやすくし、見やすいように突っ張り棒やメッシュパネルなども利用しています。少しでもたくさんの情報が分かりやすく置けるように、無い知恵を絞ります。

センターの情報コーナーはベテルギウス入口からは、直接見えない死角にありますので、遠慮せず、ずずーっと進んでください。

●掲示板

センターが大和公園の傍にあったころは、歩道に面して掲示板があり、皆さんに見てもらい易かったのですが、ベテルギウスに移転後はこのような掲示板の設置場所はありません。また、道路から見えるところには何も置かないようにとも言われていました。



でも…

歩道を歩く方に見てもらえるように、会議室1の窓際を利用して「大和市民活動センター」のパネル、「あの手この手」、「FMやまとの出演者の予告と報告」などを拡大コピーして置くようにしました。

その後、外にウッドテラスが作られて、ベンチもあります。

今は、登録団体の

方々が作られる作品も展示していますので、テラスで遊ぶ小さな子どもたちも楽しんでくれているようです。



●展示コーナー (2019年6月開始)

市民交流スペース内のセンターの倉庫(階段下)の扉横のスペースを活用して、個人・団体の活動の紹介や作品展を行えるようにしました。1か月を2枠、前半(1~15日)と後半(16日~月末)とし、基本は1枠ですが、展示終了時点で次の予約が入っていない場合、延長することが可能です。2020~21年はコロナ禍で利用が少なめでしたが、今までに73枠の利用がありました。活動紹介や力作の作品などの展示に来場者より率直な感想が寄せられています。展示を見て、「団体や活動を知った」とか、「ないと殺風景」などという感想を読むと、団体のPRに役立っていると思えます。展示の様子と寄せられた感想は「あの手この手」にも掲載しています。

●電子パネル・モニター コロナ禍に、ベテルギウス入口に設置パネルでは、会議室の予約が確認できます。モニターでは登録団体の動画を流しています。いずれもコロナ禍で考えたPRの方法ですが、コロナ禍を過ぎても、活動団体に役立つものは使い続けたいと思います。





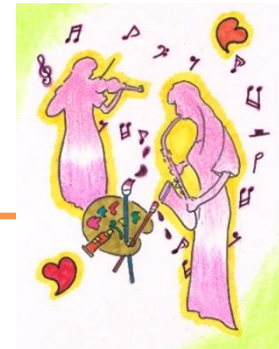
カッコフェスタ



市民活動団体交流まつり「カッコフェスタ」

「カッコフェスタ」の“カッコ”は活動交流の“活”“交”です♪
＜“登録団体”と“センター”の活動を多くの市民にアピールする場とする。
そして市民活動紹介ネットの輪を更に大きく広げる。＞を目標に活動を行っています。

ベテルギウス（旧市立図書館）への移転後も「ベテルギウスまつり」の一環としてこの「カッコフェスタ」の“カッコちゃん”は元気よく羽ばたいています。



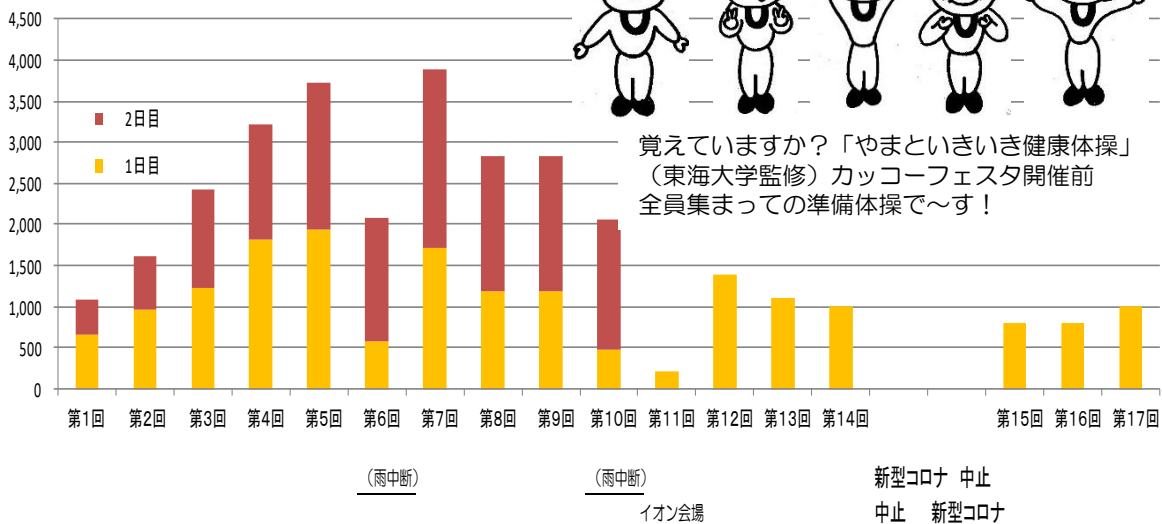
多くの方に支援されての“フェスタ”です！

下記は参加された概数を表します。

昔はお隣“大和市商工会議所”と地続きで、今は複合ビルに入って多くの部署と協力しながら登録団体が人を呼びながら 出店、掲示、パフォーマンスやワークショップで賑わいます。

	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回			第15回	第16回	第17回
1日目	657	957	1,225	1,820	1,931	578	1,720	1,198	1,190	470	220	1,400	1,100	1,000	0	0	800	800	1,000
2日目	423	653	1,210	1,400	1,794	1,499	2,160	1,627	1,640	1,590									
	1,080	1,610	2,435	3,220	3,725	2,077	3,880	2,825	2,830	2,060	220	1,400	1,100	1,000	中止	中止	800	800	1,000

<< カッコフェスタ 参加人数 >>



2016年第11回は“防災セミナー”等でお世話になっていた“イオンモール”で行われました。“市民活動”をアピールしながら人を呼ぶのは大変です。大道芸やヨーヨー名人も一緒になってやってくれました。でも やはり忙しい買い物客の流れは呼び込めませんでした。ある日「どうしてカッコフェスタの集客数が減って来てしまったのだろうか？」 皆さん、真剣な顔での話が続きまして。そんな中、買い物帰りのある女性が加わりました。「何言ってるのよ あんた達！ 何かと理由を付けたがるけど…」「産業フェアでやっている“朝市”や“野菜即売会”が引地台に移ったからでしょ！」 「この通りの人の流れも移っちゃたのよ！」 さすが主婦の目は鋭い♪

回毎に色々な催しが企画されていきました！

回数でいきますと、もう17回！イベントも毎年盛況に行われていく“てづくり”のお祭りです。中には雨で中断（2011年第6回、2015年第10回）や新型コロナ禍での中止（2020年・2021年）もありましたが、雨の時は室内で、新型コロナ禍の規制中でも数十本の活動動画配信・YouTube活用など休まずに続けて来ました。今や「カッコちゃん」というと「大和市民活動センターまつり」を指している様です♪

回数	イベント開催 特徴	裏方スタッフは大忙し！	こんな規模になりました！
1 2006年 平成18年	”盛り上げ隊”結成！	FMやまと〜やまとっこ☆みつた〜 団体参加	参加団体数x31
2 2007年 平成19年	「タオル人形」コーナー	カッコちゃん”クイズラリー”開催	参加団体数 37
3 2008年 平成20年	短歌書道吟 剣舞を ご披露	あれ？ 表情豊かにカッコちゃん7匹♪	参加団体数43 両日1200人を超えました
4 2009年 平成21年	「やまといきいき健康体操」でスタート♪	「クイズラリー」⇒「スタンプラリー」	目印はカッコフェスタの「吊り看板」！
5 2010年 平成22年	会場は”バルーンアート”で華やかに♪	大きな統一された店舗看板で”団体PR”♪	自治会向け 7000枚のチラシを配付
6 2011年 平成23年	参加団体の”打ち合わせ会”5回！	雨で中断となりましたが 両日で約2000名	自治会向け 7000枚のチラシを配付
7 2012年 平成24年	「スタンプラリー」1,500人分組みました！	両日共 約2,000人の大盛況！	自治会向け 7000枚のチラシを配付
8 2013年 平成25年	「吊り看板」は館内から駐車場にまで♪	経費節減で”外注無し”自慢の手づくり！	自治会向け 7000枚のチラシを配付
9 2014年 平成26年	木に掛けた「吊り看板」大和駅から見えます！	サポーターの支援も広がりました♥	テントx2張り、机x34脚 椅子x76脚
10 2015年 平成27年	”スチールドラム”演奏会も参加です♪	看板を補強して大きく！頑丈に！…あれ？雨…	雨で中断となりましたが 両日で約2000名
11 2016年 平成28年	今回のみ 会場は「イオンモール」で♪	1日間のイベントに変更（この会以降）	今後も”1日まつり”で
12 2017年 平成29年	コーヒーコーナー・休息室・演奏サロン開設	駐車場・広場 吊り看板 拡大PR♪	テント4張り、机x34脚 イスx76脚
13 2018年 平成30年	オペラ・演奏共演 館内に響きました♪	移転後初めて 引き続きコーヒーコーナー♪	開催 10:00~15:00（バテルギウスまつり）
14 2019年 令和元年	バテルギウスまつり 全館ラリー	イスx135脚 含「シルバー人材」「子ども青少年課」	開催 10:00~15:00（バテルギウスまつり）
2020年 令和2年		新型コロナの影響で「中止」	「共育セミナー」に切り替え 動画x62本！
2021年 令和3年		新型コロナの影響で「中止」	「共育セミナー」に切り替え 業務続行！
15 2022年 令和4年	”世界の国”スライド・地球儀にて案内！	YouTube 動画x37本 配信	開催 10:00~13:00（バテルギウスまつり）
16 2023年 令和5年	活動ブース 統一看板と団体PR	YouTube 動画x46本 配信	開催 10:00~13:00（バテルギウスまつり）
17 2024年 令和6年	踊り場ステージ 6団体のパフォーマンス！	団体 及び リgalでの簡易ワークショップ	開催 10:00~13:00（バテルギウスまつり）



共育セミナー



市民、市民団体、事業者が持つ知恵、経験、技を持ち寄り、共に育ちあう場を提供する。市民活動に関する人材育成及びネットワークを構築する目的で、この共育（ともいく）セミナーが事業として行われてきました。

対面での参加型セミナーを基本にしているが、新型コロナ禍の時期などは形態も様変わりしてインターネット、YouTube や ZOOM などを駆使して活動を続けました。

当初は登録団体中心、または市民活動に必要な情報共有をにしにしていたが、範囲を拡大して異なった分野の事例や問題解決の過程を見聞きして、自分達の活動を顧みる幅広いジャンルの講演内容に広がっている。

「共育セミナー」を通じて「協働の原点」を振りかえり、今後も地道に続ける必要を感じている。

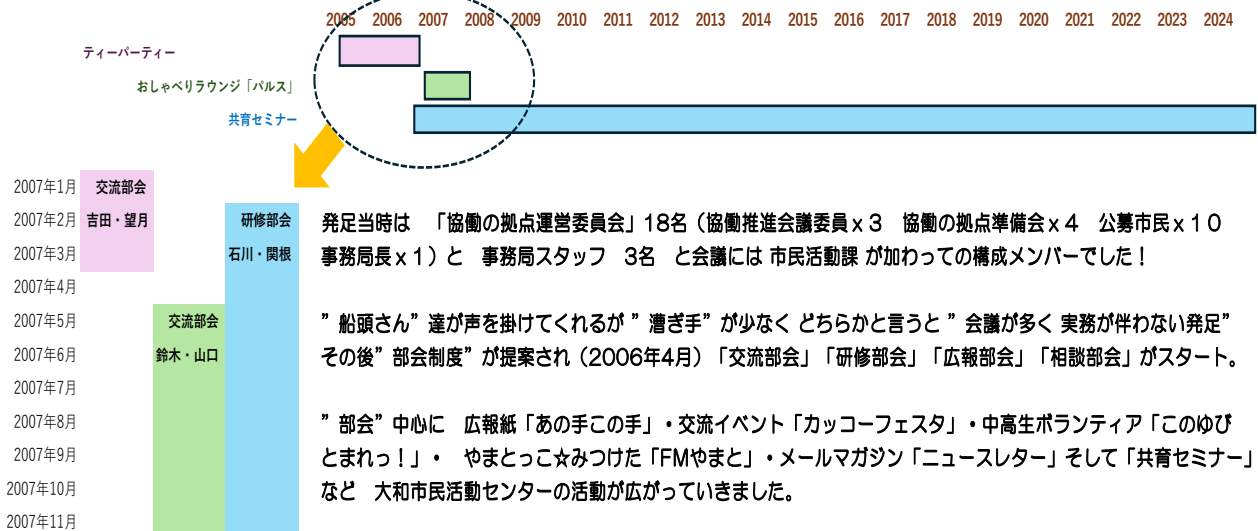
「共育セミナー」には長い道のりがあります。

18 回の「ティーパーティー」 13 回「おしゃべり・ラウンジ「パルス」」や部会別の集会を何度も組みながら この「共育（ともいく）セミナー」が生まれました。

*この冊子の「データでふりかえる 20 年」にセミナー履歴の一覧を載せています。

	担当	期間(月)	回数	度数(回/年)
ティーパーティー 2005/7/2 ティーパーティー ～ 2007/3/3 ティーパーティー	吉田・望月	20	18	11
おしゃべり・ラウンジ「パルス」 2007/5/7 おしゃべり・ラウンジ「パルス」(*) 2008/3/29 おしゃべり・ラウンジ「パルス」	鈴木・山口	11	13	14
共育(ともいく)セミナー 2007/2/7 共育セミナー ～ 2024/11/2 共育セミナー	石川・関根	213	109	7

(*) 14ヶ月間(補助金事業期間) おしゃべり・ラウンジ～共育セミナー 重複
(*)「キャンドルナイトラウンジ」5回含む
(新型コロナウイルス禍期間含む)



懐かしの「共育セミナー」シリーズちらし ♪

第 1 回～14 回

ないない シリーズ

2007年 2月 7日 ～ 2008年 10月 25日

第 15 回～19 回

いるいる シリーズ

2008年 11月 22日 ～ 2009年 2月 28日

第 20 回～29 回

～したい シリーズ

2009年 4月 29日 ～ 2010年 3月 23日



第99回 共育セミナー（開催レポート）
ウイズコロナ、ポストコロナ時代の社会貢献活動
その3 福祉施設におけるアート活動の実践と
その実践が社会と出会うということ

2022年7月の共育セミナーは、「ポストコロナ時代の社会貢献活動」シリーズの3回目として「福祉施設におけるアート活動の実践とその実践が社会と出会うということ」をテーマに、**中津川浩章さん**（美術家、障害福祉サービス事業所アール・ド・ヴィーヴルのアートディレクター、フリーのキュレーター）と**萩原美由紀さん**（認定NPO法人アール・ド・ヴィーヴル理事長、同施設長）をお招きして、トークセッション形式で会場とZOOM参加者23名の参加を得て開催しました。（県外からの多くの参加者に感謝!!）福祉施設でのアート活動といった切り口で、今回のテーマを設定しました。お二人の Passion と、アール・ド・ヴィーヴルをオープンするまでに、数多くあった困難をエネルギーにチャレンジ精神で乗り越え、NPO法人を立ち上げられたことをいきいきと語られ、障がいがある人がアートを仕事として、社会とかわり、自分らしく生きる姿が映像としてはっきり見えて、楽しかったセミナーでした。



お二人の背景の写真は、中津川さんがコーディネートされた「表現することは生きること」というタイトルのセミナーで、甲賀市の「やまなみ工房」を訪ねた際、筆者が工房内の活動、作品などを撮影したもの



第102回 共育セミナー（開催レポート）
ウイズコロナ、ポストコロナ時代の社会貢献活動
その6 農山村暮らしで体感したことを伝えたい
「緑のふるさと協力隊」（岩手県一関市花泉町）に参加して

第102回共育セミナーを2023年6月24日（土）に社会貢献活動に関わる多くの人々にエールを送り、一歩踏み出す勇気を持つ人を後押ししたいという趣旨で開催いたしました。

今回は、当センターのサポーターで、NPO法人地球緑化センターの「緑のふるさと協力隊」に参加し、1年間岩手県一関市花泉町に滞在された尾畑翼（つばさ）さんをゲストスピーカーとしてお招きして、11名の参加を得て開催しました。

尾畑さんは、2019年から当センターのサポーターとして、センター登録団体へのインタビューをして記事にする、インスタグラムページ作成、ホームページ上で紹介する団体のPR動画の撮影編集などを行い、活躍されていました。数少ない若手のボランティアとして、センタースタッフの苦手な部分を担ってくれたのです。



鶏舞は古事記の「岩戸開」に由来し、天照大神が岩戸を開いた時に鶏が舞い上がって喜んだ様子を表現したものとされている



施設の活用



大和市民活動センター設立の運びになった背景には「大和市協働推進会議委員」「協働の拠点準備会委員」皆さんの活躍があります。

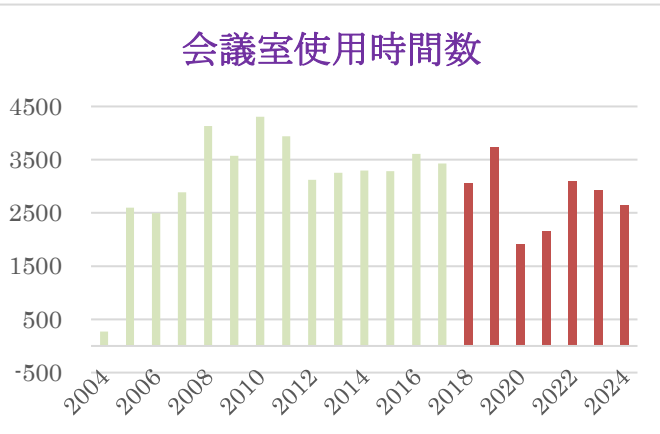
「市民活動を広げて行くのに何が必要ですか?」「市民活動を進める上で必要なものは?」「直面している問題点は何か?」などが当時大掛かりなアンケートとして問い掛けられました。集計結果で際立って多かった3項目は「人材」(社会資源)「財源」(活動資金)そしてここ大和市民活動センター設立に大きく関与した「場所」(拠り所)でした。
 <施設の活用>「会費室の使用」「印刷機の利用」「設備の活用」など市民活動を展開していく上で大切なものと理解して業務に携わっております。

会議室 (施設活用)

活用の状況をグラフで見ますと、このセンターの特徴としては“電話予約”を主に扱っています。また常時HPで予約状況(会議室場所・団体名・日時など)が確認できます。

グラフで表記してみます。新型コロナ禍期間を除くと、過去の状況があまり変化ない様に見えますが、実は移転前は会議室が1つと控室的な多目的室、移転後は広い会議室2室と「読み聞かせ」用“階段付き多目的室”が揃っています。

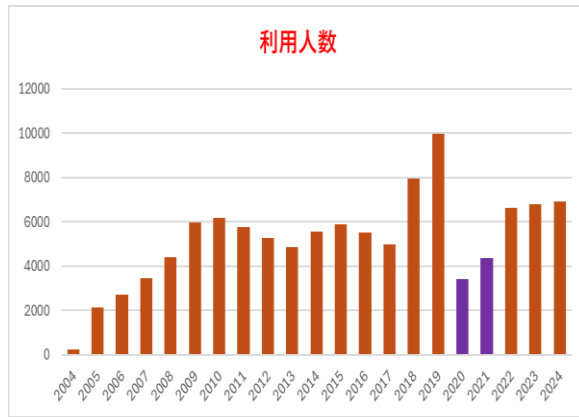
会議室使用時間数



使用件数



利用人数



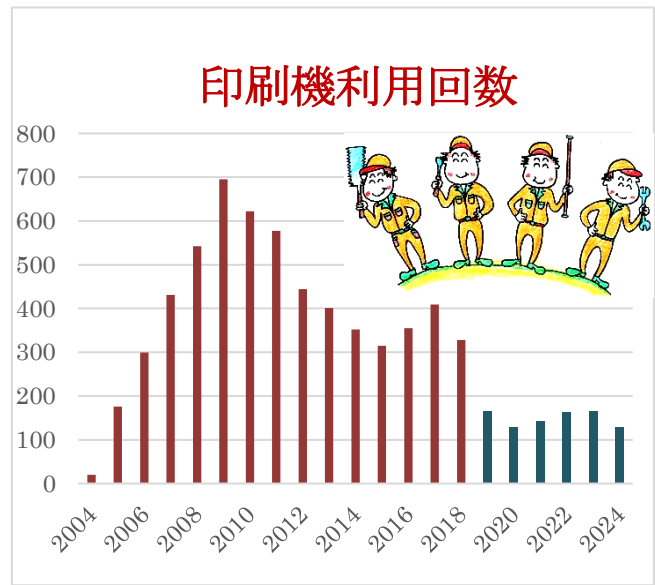
年度	移転前	移転後	使用件数			利用人数		
			会議室1	会議室2	多目的室	会議室1	会議室2	多目的室
平成16年	2004		25		8	224		31
平成17年	2005		177		6	1587		545
平成18年	2006		244		34	2188		548
平成19年	2007		295		50	2645		815
平成20年	2008		432		127	3873		532
平成21年	2009		580		149	5201		764
平成22年	2010		601		107	5389		790
平成23年	2011		581		99	5210		545
平成24年	2012		583		104	4734		548
平成25年	2013		508		131	4026		815
平成26年	2014		607		79	5045		532
平成27年	2015		587		102	5136		764
平成28年	2016		595		112	4923		603
移転前	平成29年	2017	540		96	4412		553
移転後	平成30年	2018	307	390	167	2644	4289	1025
	令和元年	2019	397	484	299	3009	5093	1853
(新型コロナ禍)	令和2年	2020	270	316	120	1201	1925	298
(新型コロナ禍)	令和3年	2021	331	379	139	1569	2379	436
	令和4年	2022	352	456	303	2131	3577	904
	令和5年	2023	363	449	272	2164	3777	871
	令和6年	2024 (予想)	377	377	314	2477	3274	1169

機器使用（印刷機など）

事業活動費＝利用負担金（機器利用料や施設利用料など）を骨子に予算が組まれています。現実は厳しく、例えば新型コロナ禍の規制下や、収入が減った環境でも負担金、補助金の穴埋めは無く、特に印刷機使用料金は際立った減少を示しています。

大きな要因は

- * 当初の印刷機購入希望に対し、20年以上レンタルを続けたこと。
- * 「カラー印刷機」購入が実現しなかった
- * 団体側に高速事務印刷機が普及した
- * 新型コロナ禍を期に来館者及び利用者が遠のいたこと等 考えられます。



市民交流スペース



会議室 2（2階）



パテルギウス本館



多目的ルーム



会議室 1（1階）



大和市民活動センター（窓口）

実はこの左側写真は私たち市民活動センター仲間にとって“貴重”な撮影なのです。急に言われた“移転”の話！何も説明の無かった“部室”の話！その後、「部室ではなく、正確には“市民活動ブース”ですと市側から説明がありました。

「兎に角、写真だけ撮って来て！」「どんな場所に移るの？」確かに、これらの写真にイスも机もありません。窓口からみる昔の市民活動センターは棚やキャビネットも無い“空き家”の様です。



市民活動ブース「部室」管理運営



市民活動団体及び市民の活動支援・場の提供として ベテルギウス館内の 51 部屋を用意し、大和市民活動センター運営管理の基に、独自の活用と活動の広がりを目指しています。

大和市民活動センター運営管理の中の業務として行っております。

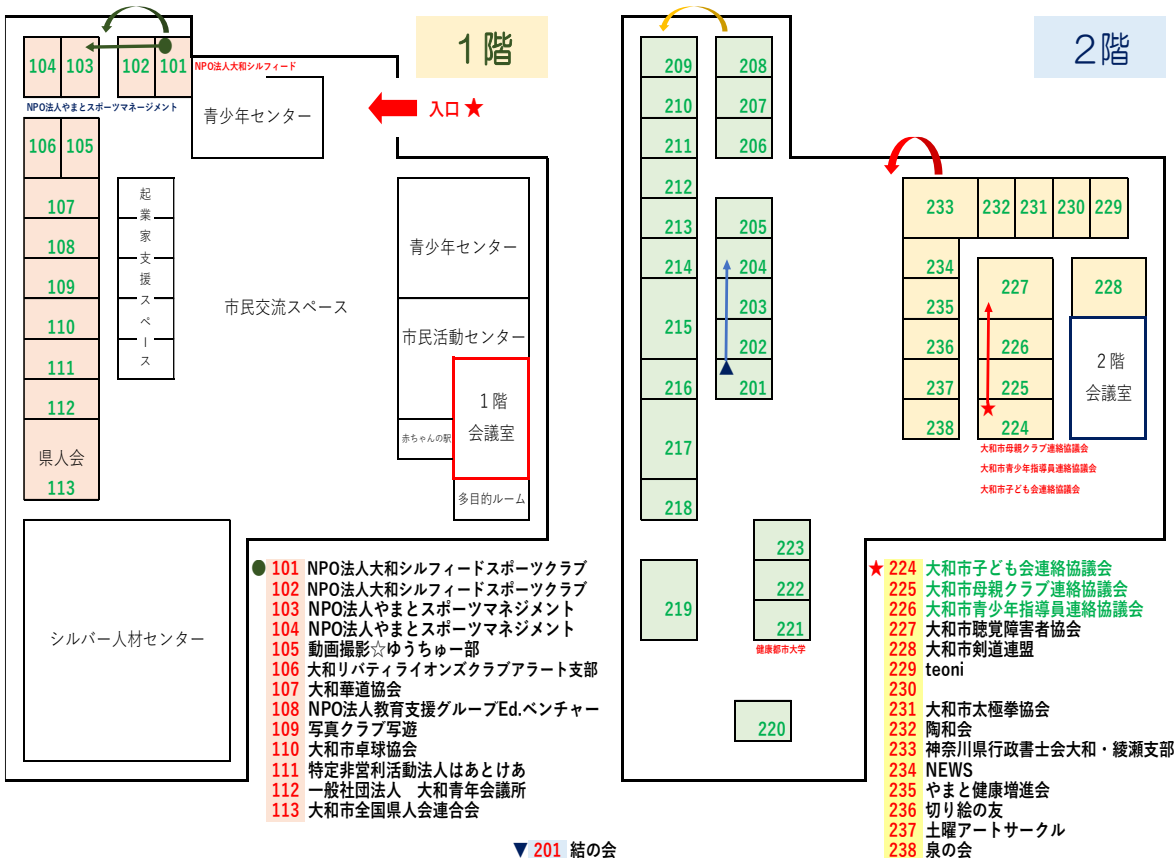
毎月の活用状況を「市民活動課」に報告、部室集金の全額を施設管轄の

「こども・青少年課」に収めて光熱費や維持管理に充てております。

使用は団体の管理で行われ、9:00~21:00（年末年始・第3月曜日の休館日以外）自由に活用できます。



市民活動ブース「部室」状況（活用面積占有率）は収支報告共に素晴らしく現在まで全年 90%を上回っている盛況な状態です。



市民活動ブース (部室) レイアウト図



みんなで交流
ひろがりの”わ”



団体名の左
数字=部屋番号

参考資料) 2024年3月1日時点での

来期4月「部室」入室 団体名 一覧表

市民活動ブース「部室」の悩み

当初はよく苦情の対応に追われました。

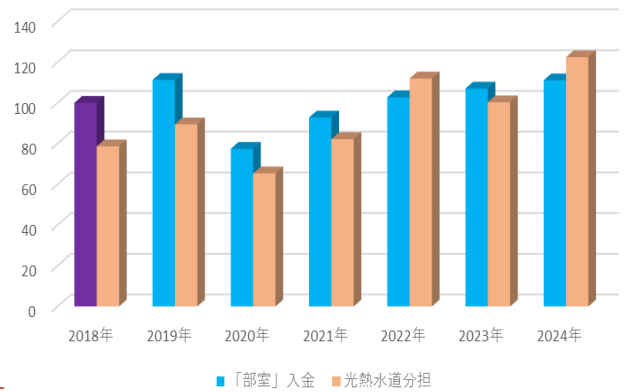
- 「隣がうるさい」…天井が無い為声が響く
- 「直接 陽が差す」…窓に日除けがない
- 1階で「足が寒い」同時に2階で「熱い！」
「換気扇は動いてるのか」「各部屋にエアコンを入れてくれ！」
これらは元市立図書館で構造上…直すには大変な修繕費用が必要とのこと。

「拠点やまと」は部室料金の集金をしています。

扱った全額を市の施設側に渡すわけですが、これに

対する“光熱費”（電気・水道・ガス）の分担額が年々上がる傾向にあり、収支バランスでの問題が生じています。今後、市の負担がこれ以上大きくなれば「料金値上げ」も検討対象になると思いますが、元々“市民活動を広げる”一環でもありますので…

「部室」の収支指数（2018年入金を100として）



昔「図書館」今「部室」などに活用されてます。

2021年更新の際、団体側から色々な意見・感想を聞きました。当初の色々な苦情を聞いていたので、あまり期待は持てませんでしたが、中にはお褒めの言葉を含め、遣り甲斐を感じました。



- 手続き・支払い・部屋替えなど簡単にできた。いつも請求されずに支払ってるでしょう？
- 皆（このスタッフ？）が居なくても自由に会員 週末・祝日など誰でも使えて便利。
- 申請時の“人数条件”など納得がいかないが、市外の人でも活用できて嬉しい。
- 兎に角、ある部室からの声が やかましい！（その人も大声でしゃべる一人ですが…）
- エアコン付けてよ！ セントラルヒーティングが好きなんて…アンタの年もわかるね♪

夜中に突然「部室」のアラームが鳴りだしたら…

ある夏の暑い日、自宅に戻ってそろそろビールでも飲んで…
急に携帯が鳴って「ある部室のベルが鳴りだして煩いんです！」

慌ててベテルギウスに行き「わっ！凄いですね～鳴り響いていますね」
冗談交じりで話していたのはこれまで！ 先ず「部屋を開けますので、許可願います」の連絡がその団体連絡担当者に通じない…慌てて代表者に切り替え、やっと備えの予備の鍵を持ってその「部室」へ！



こんな時に限って「あれっ？合わない！」また代表者に電話したら「分かりません？」の返事。連絡担当者には留守番電話に録音してみたけど…期待薄の状態。兎に角、アラームの音が煩く響くので、ハンゴを持ち出し夜勤の関係者立ち合いの元、“横壁の上を通り抜けて部室に降りる”の段取りを考えました。ハンゴを支え持ってもらい、イザ！隙間をくぐろうとしたが…「無理！ダメだ～！体を隙間に並行にしないと入れない！」ここからが大仕事！台や机を重ねて十分な高さまで積み上げやっとのことで降りる準備…ここで次の大問題！降りる台がシッカリした机でなくて段ボールや本が積み重なった状態…そこは昔鍛えた？スッフ…ぶら下がった状態で猿のように横に横に…足の感覚で細い棚にやっとなどり着きました。憎たらしいアラームを切って、幸い部室内には大小の机がありましたので、積み重ねて、月面着陸の様に♪ 元の位置に“軟着陸”。

翌日 団体に注意をしながら「ところで鍵が合いませんでしたが…？」と聞いたら、こんな問題発言「わりい わりい！ 鍵を代えたばかりで“合鍵を届けるの忘れてた”！」

一つ認識した事！ 防犯上の観点から、この＜部室デザイン＞は優れたものです！”



お祝いメッセージ



親業勉強会 吉岡 雅子

勉強会のための会議室を探していた時、ポラリスのスタッフの方にベテルギウスの会議室のことを聞きました。教えてもらわなければ、今でも知らなかったと思うので、運命を感じています。それ以来、勉強会をする際、スタッフの皆さんにも暖かく接して頂いて快適に使っています。これからも末永く使いたいです。

Story Time 川村 佳織

絵本や歌を通して英語の楽しさを伝えるボランティア活動をしています。

活動継続にあたって助成金を申請した事がセンター登録のきっかけです。以来、カッコーフェスタ参加やFM やまと出演等、楽しい経験も沢山させて頂き感謝しています。これからも各登録団体と市民をつなぐ架け橋として、楽しい情報の発信を期待しています！

地域を明るくするリハビリテーション 専門職の会 大和 岡原 隆之介

私は大和市で生まれて、育ち、今も住んでいます。地元に貢献するため大和市の病院に就職し、介護予防の取り組みをしています。ただ、職場だけの活動では不足と感じて市民活動団体に登録しました。大和市民活動センターはそのきっかけを作ってくれました。今後も一緒に協力して大和市を明るくしていきたいと思えます。

NPO 法人ゲートキーパー和楽 皆川 早苗

大和市民活動センター設立 20 周年記念、おめでとうございます！ これからも地域活動を純粋に考え行動する皆さんの想いに寄り添い力となる拠点であって頂きたいと強く願っております。当法人の関わりとしては、NPO 立ち上げの情報や活動拡散として ラジオ参加や広報紙への安価なチラシ封入など助かっております。ありがとうございます。

大和地区日中友好協会 石井 功

活動センターが駅の近くにあった頃から、スタッフの皆さんの働きぶりは積極的で、多数ある在籍団体を牽引する役割を果たしてくださっていました。新しい施設は部室なども使用できて、団体やサークルにとってこの上ない活動の場です。200号を超える「あの手この手」の発行、100回を超える「共育セミナー」の開催は、利用団体の活動の刺激となってきました。市民活動センターの存在の大きさを痛感するとともに、活動を支援して戴いていることに深く感謝いたします。

柏木学園高等学校 短歌書道部顧問 濱谷美代子

櫻井さんとの感動的な出会いから始まった、柏木学園高校短歌書道部のボランティア。高齢者施設などでは逆に生徒の方が癒され、どちらがボランティアなのか判らないくらいでした。活動センターの温かい皆様のお陰で部員たちは、心にしなやかな筋肉をつけ、高校を、部を、そして大和市民活動センターを卒業していったのです。

とある秋の日。FM やまと【やまとっこ☆みつけた】に出演した矢崎君。実は、明日が大学受験という大切な日でした。彼はムードメーカーで気遣いのできる人。ボランティアなどで後輩たちを盛り立て、番組を楽しいものにしてくれました。矢崎君は、高齢者施設ボランティアをきっかけに介護福祉の大学に進み、現在は介護士として自己実現を果たそうとしています。このように、大和市民活動センターの存在は、ボランティアのコーディネイトにとどまらず、若い人たちの進路、ひいては人生にも関わっているのです。感謝！



NPO 法人 la graine ラグレーヌ

高野橋 絵美

NPO 法人設立を決心してから1ヵ月、大和市の補助金はないかと検索したことから始まった。沢山の情報、アイデア、知識、そして困った時のサポート、それはまるで近い親族の様に接して下さいました。右も左も分からなくても良い、どんなに心強かったことか、150字では表現しきれません。これからも嬉しい事、悲しい事何でもお電話させていただきます (笑)

大和南京玉すだれ&ジャグリングクラブ 村田正和 (ラッキーさん)

18年程前、カッコーフェスタを見てセンターに登録しました。カッコーフェスタは連続出演。大和市内の老人ホーム等でボランティア活動をしています。コロナ禍にセンターで作成してもらった動画 (YouTube) の反響が大きく、テレビ神奈川でお笑いタレントさんと、TBS モニタリングの変装チャレンジでは平野紫耀さんの師匠役で出演しました。生徒さんの中には独立して、教室を持った人もいます。個人的には高齢になり次の世代に広げて欲しいと思います。センターの紹介で生徒さんが市内イベントに多数出演しました。正に共育です。

大和市芸術文化振興会 小林 三夫

大和市民活動センタースタッフの皆さんとの初対面は「変なおじさん」のイメージだったようですが、そんな出会いから19年になりました。これまで市民活動センターの皆さんにご指導を賜りながら、ボランティアの方々と一緒にコンサート 楽器体験 楽器作り など色々な活動を支えて、多くの皆さんに夢や感動を与えることができました。皆さんに感謝と御礼を申し上げます。今後も、文化の薫りする心豊かで活力あるまちづくりの為に老体にムチを打って下さい。



神奈川探龍倶楽部

上田康史

一言で20年と簡単に言いますが、日々のスタッフの努力の積み重ねがあつての20年だと思っております。私どもがここベテルギウスの市民活動ブース「部室」を使用させていただいて10年以上が経ちます。日ごろから市と使用する市民団体の間に立ち、スムーズに運営していただき、感謝しております。私どもは退職後の第二のライフワークとしての新しい研究を模索し、スタートさせようとしていた時期にこのような施設が出来、あつと言う間の10年でした。この部室を拠点として調査・研究を行ったお蔭で、異業種との交流が始まり、人脈も広がり、研究調査が思っていた以上にはかどりました。

当初はどのようにスタートさせたらよいか、何から手を付けたらよいか分からない状態でしたが、市民活動センタースタッフ及び部室があるお蔭で、心機一転、気持ちを新たに始めることが出来ました。今まで趣味でやっていた事柄の継続する場所、新しいことを始めるにあつての拠点としては素晴らしい事業・施設だと思います。今後も色々な活動をする方の手助けになることを願っております。

NPO 法人 サポートハウスワン・ピース

滝本美知留

設立20周年おめでとうございます。当時ワンピースもオープンしたばかりでセンターの櫻井さん関根さん小林さん望月さんなど設立メンバーの方々にたくさんお世話になりました。夏には大和公園で水鉄砲大会やかき氷、冬にはクリスマス会、会議室に段ボールを敷き詰めてお絵かき会など楽しい思い出がいっぱいです。現在はセンターもワンピースも移転しましたが、今も変わらずお声がけいただきうれしい限りです。これからも市民活動を応援する心強い存在としてますます発展してくれることを期待しています。

食のアトリエ

竹川 竹代

大和市民活動センター20周年おめでとうございます。「食のアトリエ」も2004年に活動をスタートし、「ミーティングの場所」「イベントのチラシ作成やその周知」「他団体との出会い」等々、活動の居場所、スタッフの皆様の温かい応援は、活動継続の大きな力です。そして、「若い世代につなげたい!!」実現のため「あの手この手」に期待します。



お祝いメッセージ



emotional connection

原田 美佳

大和市民活動センター様設立 20 周年おめでとうございます。エモ会立上げ時、拠点をどこにするか悩んでいる時に知りました。何も分からない私に色々教えて戴けた他、エモ会を広めるためのアドバイスやラジオ出演など助けて戴き感謝しかありません。ありがとうございます。今後、益々のご発展を祈念しています。

AA 神奈川女性交流会

小野 留里

私達はアルコールに問題のある女性の自助グループです。毎月第 1、3 木曜 19～20:20 お酒をやめ続けより良く生きる為にミーティングを行い、自分の問題を話せる居場所になっています。以前は大和青少年センターで行っていましたが取り壊しになりベテルギウスに移ってきました。アクセスも良く人数も増えてきています。

コミュニケーション “談”

斉藤 圭美

それまで使っていた活動拠点が使えなくなり、最初は大和公園隣の大和市民活動センターを利用し、次に今の場所へ移りました。市民が自由に、借りやすく、安い利用料で使える場所があるおかげで、今日まで活動を続けることができたと思っています。個室でプライバシーも守られているのもうれしいです。長く続けてほしいです。

やまと国際フレンドクラブ(IFC)

長谷部美由紀

市民団体に寄り添って、親身になって応援して下さるセンターの皆様、いつも感謝しています。以前、やまと国際アートフェスタで資金に困っていた際も「クラウドファンディング」のことを教えていただき、自分たちの活動を外に向けてアピールすることで、資金を集めることができたことは、本当に「感動！」でした。市民団体の力強い応援団である市民活動センターです！

NPO 法人 さくらの森・親子サポートネット

伊知地るみ

2004 年私は大和市議の役割を担いつつ市民活動に取り組んでいました。大和市内市民活動の拠点が出来ることを大いに期待し、古い建物の掃除やリフォームに楽しんで参加しました。現在は市民活動を事業化し、子育て支援や保育園を「まちづくり」の視点で運営しています。今後の肝は情報発信の仕方でしょうか。SNS 等のさらなる活用を！

NPO 法人ワーカーズ・コレクティブ

ケアびーくる

奥平ます美

設立 20 周年、おめでとうございます。助成制度の紹介、N-BOX お披露目式への参列（生憎のみぞれの中で）、FM やまと出演、出張ボランティア案内所等々、さまざまお世話になりました。ケアびーくるは設立 27 年目で待ったなしの世代交代に直面、今が踏ん張り時だと思っています。今後ともどうぞよろしくお願ひします。



歴史工房やまと

酒井 順子

私たちは 2023 年夏に団体登録し、おかげさまで、自分たちが望む「大和で生きた人たちへの聞き書き」に邁進できております。それはひとえに、大和市民活動センターの登録団体にしていただけたおかげだと心より感謝いたしております。市民活動グループとしては、未熟で試行錯誤ばかり繰り返してきましたが、「人々の生きた経験を次世代や後世に残すことに意義がある」と信じて、活動を続けたいと思っています。

がくいきの会 芝原 重喜

私共は、高齢化社会の中で、住民の繋がりが大事だと「ふれあいサロン、南鶴間茶 OH」を2016年2月に立ち上げました。市民活動センターには、2016年12月に市民活動の在り方の相談に伺ったのが最初でした。活動助言を参考に、地域のニーズ・人材発掘をしながら、【趣味の作品展、健康ウォーク、認知症カフェ、ラジオ体操】と活動の幅を広げています。FM やまとへの出演、地域づくりカレッジや共育セミナーなどに参画し、いろいろな団体との交流が出来る事に感謝します。今後も地域活動の拠点としてさらに活性化、発展されます事を切に願っています。

大和たんぼぼの会 石川 克子

貴センターは何時訪れても丁寧に対応をしてくださるので有り難いです。こちら、ボランティアの立場に常に立っていただいていると感じています。困っているときにも、普通するときにもその差もなく。きっかけは、やはり市民活動課の「めばえ」の申請ですね。助言者にセンターのスタッフがいらして、励ましていただき、その後「あの手この手」の取材を受けたことでしょうか。皆さんの温かい対応が印象的です。

NPO 法人ブラービ 島崎 健治

私たちブラービが大和市民活動センターに初めて団体登録したのは、2021年7月。

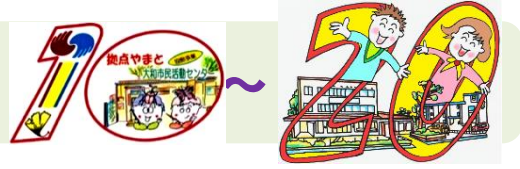
まだ、法人格をもたず、任意団体でした。翌22年の5月にはFM やまとの” やまとっこ☆みつけた” に出演させていただき、私たちの活動を広くPRする事が出来ました。私たちの主催するコンサートのチラシも、毎回おいていただいています。重要な会議はいつも、市民活動センターです。今後は、他の団体の方々とも繋がって、新たな活動の可能性を探って行きたいと思っています。

日本ケアトランポリン普及協会 関 健寿

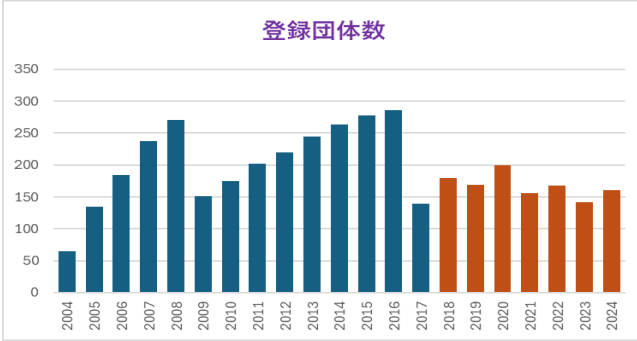
センターとの関わりは、健康、スポーツ、文化を通じて各種団体活動をしてきました。FM やまとなどにも出演の機会をいただきました。カッコーフェスタではケアトランポリン会員のパフォーマンス演技を初めて公開させていただきました。日本ケアトランポリン普及協会、大和キッズジュニア体操クラブ、日本舞道協会などと連携し、市民の健康と文化の振興に取り組んでいます。今後も各団体と協力し、地域のニーズに応じた新たな活動やイベントの企画も行い、地域の交流と活性化に貢献していきます。



データでふいかえる 20年 ~



登録団体の活動分類・内容が変わってきています！



登録団体数を左記に示します。ベテルギウスは旧市立図書館ですので、音響が跳ね返り音の出す団体、アンサンブル、楽器・声楽団体などの利用ができなくなりました。

(グラフの右・茶色)

*5年目に大きく動いたのは“登録条件”を改訂し、活動を伴わない“名前だけの団体登録”を更新しなかった結果です。

活動分類

“市民活動を広げよう”を合言葉に業務を行っています。傾向として近年、特に移転後は登録団体の活動内容も大きく変わっています。

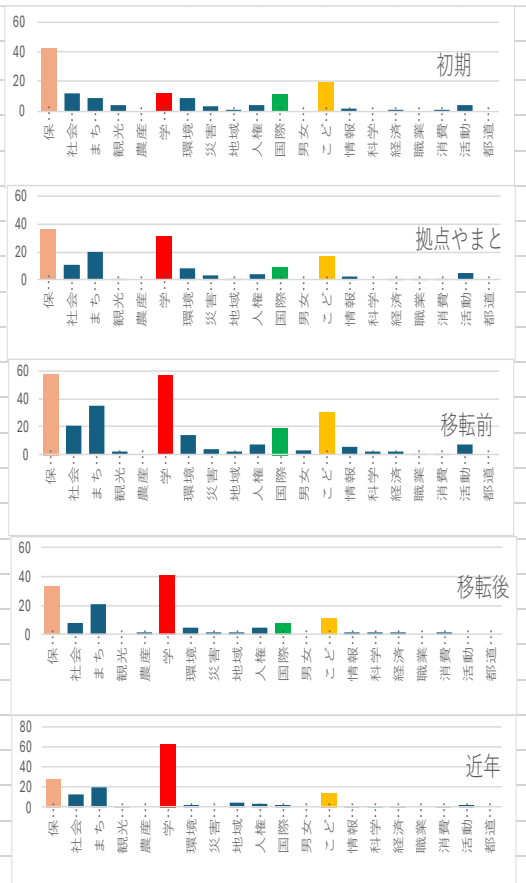
(保健・医療・福祉)が減り (学術・文化・芸術・スポーツ)が増える傾向にあります。

*登録数に波をうっているのは、「登録承認条件を見直した」と、移転時の大幅な“シリウス”への登録替え”です。

大きく<生涯学習系>趣味仲間活動 <市民活動系>公共性を含めた活動に別けますと
移転前(平均) 移転後(平均)

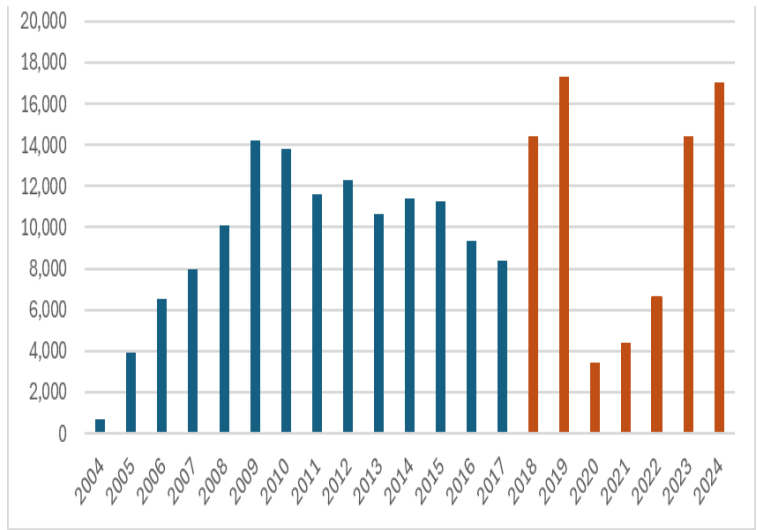
<生涯学習系>	44%	77%
<市民活動系>	56%	23%

活動分類	2005	2009	2015	2018	2024
	初期	拠点やまこ	移転前	移転後	近年
01 保健・医療・福祉	42	36	58	33	27
02 社会教育	12	11	21	8	12
03 まちづくり	9	20	35	21	19
04 観光の振興	4	1	2	0	1
05 農産漁業村又は中山間地域の振興	0	0	0	1	0
06 学術・文化・芸術・スポーツ	12	31	57	41	63
07 環境の保全	9	8	14	5	2
08 災害救援活動	3	3	4	1	0
09 地域安全活動	1	1	2	1	4
10 人権の擁護・平和の推進	4	4	7	5	3
11 国際協力	11	9	19	8	2
12 男女共同参画社会の形成の促進	0	0	3	0	0
13 こどもの健全育成	19	17	30	11	13
14 情報化社会の発展	2	2	6	1	1
15 科学技術の振興	0	0	2	1	1
16 経済活動の活性化	1	1	2	1	1
17 職業能力の開発・雇用機会の拡充を支援する	0	1	1	0	0
18 消費者の保護	1	1	1	1	1
19 活動を行う団体の運営または活動に関する連絡、助言または援助の活動	4	5	7	0	2
20 都道府県又は指定都市の条例で定める活動	0	0	0	0	0
	134	151	271	139	152



何人くらいの人たちが来館されているのでしょうか？

来館者数	
2004	716 センター館内
2005	3,902
2006	6,555
2007	7,985
2008	10,065
2009	14,192
2010	13,792
2011	11,580
2012	12,289
2013	10,616
2014	11,371
2015	11,247
2016	9,354
移転前	2017 8,378
移転後	2018 14,404 フリースペース
	2019 17,329
	2020 3,424 新型コロナ
	2021 4,384 新型コロナ
	2022 6,612 新型コロナ
	2023 14,388 フリースペース
	2024 17,000



移転前：活動センターを訪れた人数（来館者記入）

移転後：“ベテルギウス”は「こども・青少年課」「シルバー人材センター」との複合ビルです。市民活動センターのみをカウントすることは難しく、市民交流スペースでの動向を見る為の概算となっています。
*やはり“新型コロナ禍”の影響が大きく表れています。

このゆびに何がとまるの？「このゆびとまれっ！」



中高生の夏休みボランティア活動「このゆびとまれっ！」
指に何をとませようか…担当者はじめ関係者の意見交換です…
直ぐに“トンボ”が描かれました…が、意見がまとまりません…

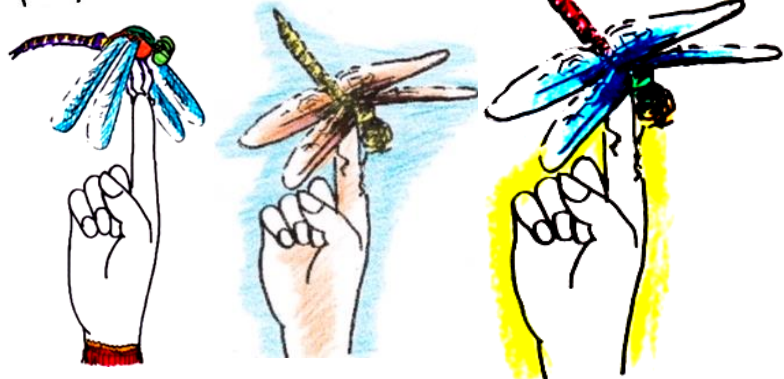


毎年「このゆびとまれっ！」
思い出の記録冊子”が編集されされる度に…

時は流れ、編集印刷もカラーの時代となりました。

ある日、女子高校生が挿絵を見ながら「指をグルグルまわしてトンボが目を回す前に指にとまれちゃったんでしょ！下手ね！」

その後は、理由もなしに最初のトンボをカラーで描いただけのイラストを使い続け…今に至っています。



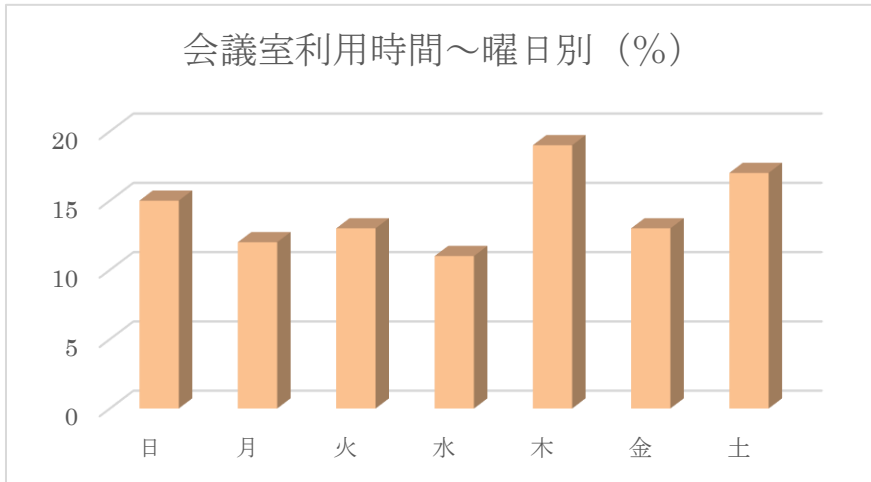
会議室活用時間 どの曜日が多いかな？

データがあったので、興味本位でまとめてみました。

ベテルギウス閉館日が含まれる月曜日は使用日数を同じに補正しました。土曜日曜に多い

「カックオフフェスタ」や「共育セミナー」イベント関連は除いて集計をしています。

昔“市民活動センター”移転前に来館者、特に会議室利用に関する曜日ごとの統計もした事があります。当時は「月曜日」が多くて、水曜日が少なかったのを覚えています。その理由は市の関連施設、特に“コミュニティーセンター”が月曜日一斉閉館で、大和市民活動センター会議室を使っていた様です。



“多忙な月曜日”は昔の話となりました。また土・日曜日が多いのは他の施設も同じ様ですが…

では「木曜日」がこんなに大きな利用は？

これは登録団体の内、規模の大きな数団体が定期的にここを活用しているからです。調べてみれば「な～んだ！」

FM やまと 出演回数の多い団体は？



回数	順位	団体名
13	1	柏木学園高等学校
12	2	大和市民活動センター（拠点やまと）
11	3	引地川水とみどりの会
9	4	やまと国際オペラ協会
9	4	やまと国際フレンドクラブ
9	4	大和市芸術文化振興会
8	7	NPO法人ワークスコレクティブ
8	7	カックオフフェスタ応援隊
8	7	引地川かわくんだり実行委員会
7	10	NPO法人 地域家族しんちゃんハウス
7	10	サークルありんこ
5	12	NPO法人 WE21 ジャパン大和
5	12	カットスタジオみどり
5	12	サウンドテーブルテニスクラブ
5	12	みなちかやまと
5	12	食のアトリエ
5	12	神奈川探龍倶楽部
5	12	大和たんぽぽの会
5	12	大和南京玉すだれ
5	12	日本ケアランポリン普及協会

2024年までの FMやまと～やまとっこ☆みつけた～出演回数は累計で469回を数えます。

参加に協力して頂いた297団体の皆様 そして番組を支えて下さったパーソナリティのジョニー（天沼）さん・今城さん有難うございました。では参加回数の多い団体は？ 検索前は 皆さん「当然、大和市民活動センタースタッフでしょう！」「イベントやお知らせ回数が多いし…」資料を見てビックリ！「このゆびとまれっ！」等に大活躍の柏木学園高等学校の生徒さん達でした！

ここで注目したいのは「やまと国際オペラ協会」(YIOC)と「やまと国際フレンドクラブ」(IFC)…合わせると、ダントツのトップです。共に長谷部さんご夫婦が中心の団体です。素晴らしいですね！他の団体にも活動支援を続けている 大きなネットワークの団体です。



こんな「カッコちゃん」も木にとまっていたんだ♪

カッコフェスタ 活動交流の「カッコちゃん」今ではお馴染みとなり賑やかな会場を飛び回っていますが…

他にもたくさんいた様です。打合せの前日の夜「カッコちゃんにも“喜怒哀楽”があるからって言われました…



明日の会議まで
 お願いしますね！」
 色々揃いましたが
 結局“出番がない”様

で、ファイルの中で、待ちの状態です。

カッコちゃんの活躍も広がって…チラシをはじめスタンプになったり“吊り看板”で拡大されたり市の広報でも紹介されました。でもこんな事も



ありました… チラシを作っていた担当者が「反対向き無い？」その時は“パソコンで反転”させれば大丈夫と思って安請け合いをしましたが、それでは帽子にある“カッコ”の文字まで反転してしまいました。最終的には やはり“手描き”で、逆向きカッコちゃんが生まれる事になりました。

確か？ 英語版「このゆびとまれっ！」活動記録冊子も…

大勢の中高校生対象の このプログラムはまわりの協力支援と細かなスケジュール調整が必要です。活動の始まりは、先ず「オリエンテーション」。活動受入団体や関係者の案内、注意点などを伝えます。

“会議室があふれてしまう”“急遽登録団体の場所を借りなくては”“参加高の生徒を半分づつ分けたら…”そして年によっては「英語で説明できます？」

「オリエンテーション資料も英訳をお願いします」そこで 何とか準備はしたものの…

でも心配は要りません！ しっかりした生徒たちが付き添いの親たちに通訳してくれたり見たら、母国語でメモを取ったり、私たちに向かっての発言は日本語でしてくれました。彼らのボランティア活動は既に始まっているのです…



FM やまと ～やまとっこ☆みつけた～ 参加団体イラスト

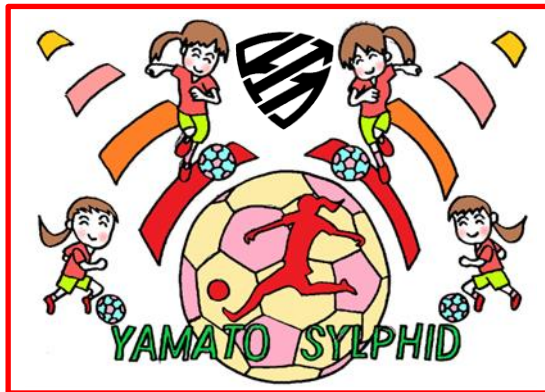
FM やまと ～やまとっこ☆みつけた～ の番組では 活動紹介やメンバー募集など、そして近々のイベント案内などを放送します。現在は奇数週の火曜日 朝9時から30分の生放送で、参加の皆さんは張り切った出演です。開始当初から FM やまと パーソナリティの方のお世話になっております。と言うか“おんぶにだっこ”の状態です。未だにあのスマートな終わり方には感心しきりです。担当の調整力も見事です。団体のスケジュールを聞き、前以て略式質問をして、当日立ち合いをして写真を撮ったり、番組内容の書き下ろしをしながら広報紙「あの手この手」に原稿を載せての報告です。何と昔は“毎週番組”“1時間番組”の時代がありました。また逆に1時間から30分に短縮した時“うまくまとまるか？”とても不安でしたが、FMやまと “プロ” パーソナリティ 今城さんのこの一言で安心して無事継続放送となりました。「大丈夫ですよ！かえってリズムがつかめて30分を有効に使えますよ！」



FM やまと ～やまとっこ☆みつけた～ 出演団体…漫画で“活動紹介”

大和市民活動センター 「設立 20 周年記念」

2月8日(土) 470余りの“これまで参加した団体”が市民交流スペース掲示板で紹介されました。そこにシルフィードの女性4人が通りかかり「何で～♪2日後にFMやまとに出るのよ～入れてよ～何で～♪」そして、その日の内に右の漫画が加わりました。紙のメモには“大和市民活動センター直ぐやるスタッフ”のサインがありました。



あれ？掲示板に1枚追加の漫画が貼ってある！

20周年記念の16日(日)の2日後…
18日(火)出演の
NPO 法人
『大和シルフィード
スポーツクラブ』
催促されての特別展示♪

日頃からの“ファイリング”はその人のスキル！



そうか…もう20年か… 今までやってきた業績も素晴らしいものですが、それを記録として“書き留める”“整理する”“綴じておく”このファイリングも一つの“能力”だと思えます。この20周年記念(2月16日:日)直前の今日は2月12日(水)。明日この冊子の印刷予定をしています。関根さんが2か月前のスタッフ会議で「記念として冊子を作りましょう。皆の思いを冊子にしませんか？」…その後、先月は何の反応も無く…今月2月6日(木)の再度のスタッフ会議で確認した結果(私には“催促・督促”に聞こえましたが♪)いきなり皆さんからの担当記事が集まってきました。昔、会社上司が私のグチャグチャな机を見ながら「ファイリングもスキルだよ！」皆の前で怒られたのを思い出しました。 焦り気味の印刷係 望月



昔のセンター（皆で作った“プレハブ”センター）



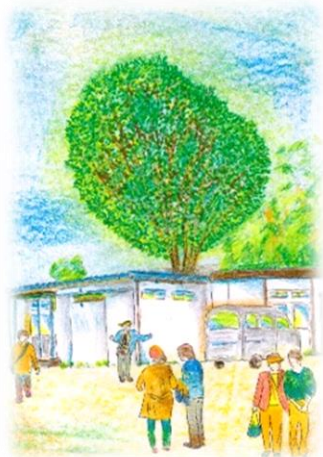
大和駅南口から大和市民活動センターを見ると右に「大イチョウ」左に「けやき」が見えました。

やまと公園には大和市民活動センターの背景のように「メタセコイア」が並んで見えました。



昔の大和市民活動センターは「やまと公園」の北側に商工会議所と駐車場を共有したお隣同士で並んでいました。大和駅の南側から見ると“駐車場”前の大和市民活動センターのシンボルく大イチョウ>、その奥にこれまた大木の空に手を伸ばした様な“けやけし美しい”く櫻（けやき）の木>そのまた奥の公園にはくメタセコイアの並木>が摩天楼の様に並んで見えました。

この20周年冊子を通して、偶然“スケッチ”を見付けましたので載せてもらいました。バツサリ切られてしまったく櫻の根>が掘り起こされている作業を見ながら、悲しい気持ちをスケッチで表したのかもかもしれません。





懐かしい！
あなたも関わった記憶があると思います…

タイトルと講師の方々を並べて時系列で「共育（ともいく）セミナー」のこれまでのデータを表にしてみました。

立ち上がり当初は 4つの「部会」
（研修部会・広報部会・相談部会・交流部会）がありました。
それら部会が 競ってセミナーを企画しては 開催していました。



共育セミナー履歴

回	開催日	曜日	時間	タイトル	講師・お話の方（敬称略）
1	2007年2月7日	水	19:00	仲間づくり・資金づくり	永井圭子 森英志 館合みち子
2	2007年3月14日	水	13:30	団体の会計処理	首藤雅代
3	2007年5月24日	木	13:30	どうしたら、効果的なリーフレットができるか 「情報を伝えるコツ」	小杉 皓男
4	2007年7月20日	金	14:00	NPOと法人制度	権野 修平
5	2007年9月25日	火	14:00	補助金申請の仕方	小山紳一郎
6	2007年11月27日	火	18:30	人々が続々集まってくれるイベント企画のへそはここにある 「学習センター事業の企画立案をとおして」 「せみのぬけがら鑑定士ができるまで」	赤堀正巳 畠山 崇
7	2008年1月28日	月	18:30	手早く、正確、分かりやすい「決算書」づくりはこうありたい	富岡 弘文
8	2008年3月5日	水	10:00	市民活動団体と企業・事業者との縁結び Part-1	白川 富一
9	2008年4月26日	土	10:00	市民活動団体と企業・事業者との縁結び Part-2	平田 行雄
10	2008年5月31日	土	10:00	市民活動センターのきのう、きょう、あした	拠点やまと
11	2008年6月27日	金	18:00	災害時のコミュニケーション	船越 英一
12	2008年7月26日 2008年8月30日	土 土	10:00 15:00	高校生集まれ！はじめての一步に来て・みて・ご覧」 カッコーフェスタ「活動交流」団体説明会 共育から	榎本 麻美子
13	2008年9月27日	土	10:00	知れば知るほどおもしろい大和市です	長谷川 あい子
14	2008年10月25日	土	10:00	公園からひろがるコミュニティー	川端 敏雄
15	2008年11月22日	土	10:00	市民活動センターのきのう、きょう、あした	拠点やまと
16	2008年12月20日	土	10:00	知れば知るほどおもしろい大和市ですPART2	長谷部 美由紀
17	2009年1月24日	土	10:00	知れば知るほどおもしろい大和市ですPART3	市川 秀雄
18	2009年2月21日	土	10:00	今どきの高校生事情	濱谷 美代子
19	2009年3月28日	土	10:00	やさしい日本語を知っていますか？	樋口 由美子
20	2009年4月29日	水	14:00	市民活動センターのきのう、きょう、あした	拠点やまと

21	2009年5月26日	火	15:00	福祉とわたし	佐藤 良雄
22	2009年6月27日	土	18:00	困ったなー、そんな時	望月 則男
23	2009年7月27日 2009年8月22日	月 土	18:30 13:00	共によりよく生き育ちたい 第1回市民活動団体交流会 共育セミナーからの発展	小島 篤子 (17団体)
24	2009年10月1日 2009年10月8日 2009年11月7日	木 木 土/日	18:30 18:30 10:00	Wordで広報紙をつくりたい Wordで広報紙をつくりたい 第4回カッコフェスタ	堀場 敦 他+スタッフ9名 堀場 敦
25	2009年11月30日	月	18:30	知れば知るほどおもしろい大和市ですPART4 ～大和市をもっと知りたい～	丸山佐和子
26	2009年12月19日	土	18:30	知れば知るほどおもしろい大和市ですPART5 ～大和の推奨品を味わいましょう～	拠点やまと
27	2010年1月23日	土	14:00	フィンランドの安心の子育てを伝えたい	小杉 皓男 北方 美穂
28	2010年2月13日	土	14:00	平和の種をまきたい	阿部ひそか
29	2010年3月23日	火	14:00	“大和市街づくり賞”から“まちづくり”を考えたい	小川 政男
30	2010年4月24日	土	16:30	活かそう！携帯でんわで ひろがりの輪 ～事業者が参加する「新しい公共」～ Part1	ドコモショップ 股部・加藤・菅原
31	2010年5月22日	土	14:00	市民活動センターの きのう、きょう、あした	拠点やまと
32	2010年6月24日	木	18:00	もしものときにパニックにならないために	今里 鐵男
33	2010年7月24日	土	10:00	「親子、兄妹で似顔絵 描きっこしよう」	ほのぼの絵師あずみ
34	2010年8月25日	水	18:00	フィルムコミッションてな～に？ フィルムコミッションで街を活性化させよう！	杉下 由輝
35	2010年11月15日	月	18:00	プレゼントの文化って？ ～感謝祭からクリスマスへ～	丸山 澄枝
36	2010年12月18日	土	18:00	おいしい大和を知りたい 知れば知るほどおもしろい大和市ですPART6	拠点やまと
37	2011年1月26日	水	18:00	「健康と元気はちがう」	増田 愛一郎
38	2011年2月15日	火	18:00	「海外市民活動事情」ドイツ編 ～カールスルーエ、ブレーメンを訪ねて～	村山 真弓
39	2011年3月29日	火	18:00	市民活動をITで支援 ～マイクロソフトIT講座・フォローアップ～	市川 晋 望月 則男
臨時	2011年4月14日	木	17:00	未曾有の大災害 あなたは何ができますか？ ～東日本大災害の被災地からの緊急報告～	北島 次郎
40	2011年4月20日	水	18:00	間違いだらけの“健康常識” ～健康オタクは早死にする！？～	大野カズミ
41	2011年5月23日	月	14:00	パワーポイントを使ってみよう ～プレゼンテーションも楽しく♪～	望月 則男
42	2011年6月17日	金	15:00	一つになろう日本in大和 ～1日も早い被災地の復興を願って～	宇山 隆
43	2011年7月23日	土	15:00	映像とソーシャルメディアで地域の活性化 ～活動記録を映像で配信しませんか～	森 康祐 山田 幻太
44	2011年8月20日	土	10:00	五味さんのゴミひろい ～引地川の清流をとり戻す～ チャレンジな活動	五味 尚生
45	2011年9月30日	金	16:00	こころのつながりをつくる簡単で面白いやり方 ～まず、お母さん自身の心のケアから～	手塚 郁恵
46	2011年10月17日	月	16:00	市民活動を通して なんでもプラス ～手と手をつなぐ地域ネット～	今井 功
47	2011年11月26日	土	10:00	引地川にトンボが戻ってきた！ ～継続した市民活動からみえてくるもの～	飯塚 栄子
48	2011年12月16日	金	18:30	おいしく食べて、もっともっと大和市を知ろう ～地産地消・大和ブランドを推進～	拠点やまと
49	2012年1月26日	木	18:00	NPOで働くということ PART-1 ～言いたくとも 言えない モヤモヤ～	関根孝子
50	2012年2月23日	木	18:00	NPOで働くということ PART-2 ～感じているモヤモヤを なくしてスッキリ！～	杉下由輝

51	2012年3月23日	金	14:00	今どきの子育て親事情 ～孤立しない子育てのために～	清水三和子 永井圭子
52	2012年5月17日	木	14:00	「茶OH!」で チャオ! ～協働事業「ふくしの手」全員集合って?～	石原啓子
53	2012年6月26日	火	15:00	もしもの時 本当に必要なものは! ～災害時に役立つ 知恵と物～	小宮山利恵子
54	2012年7月24日	火	16:00	とっさの判断力を磨く ～あなたならどうする? とっさの時～	関根孝子 「クロスワード」進行
55	2012年9月14日	金	18:30	NPO法改正 新寄附税制 会計基準 ～知っておきたいポイント～ IKOZA	手塚明美
56	2012年12月18日	火	19:00	会議上手になろう! ～会議進行役がポイントです～ IKOZA 500円	青木将幸
57	2013年3月19日	火	18:30	NPO会計「活動計算書」の作り方 ～活動の 整理整頓・次への準備～ 500円	板倉幸子
58	2013年6月26日	水	17:00	個別対応セミナー「活動計算書」を作成しませんか? 500円	板倉幸子 2団体
59	2013年9月21日	土	10:00	活動の展開から見えてきたもの ～補助金事業から協働事業へ～	食のアトリエ NPO法人やまとCAPひまわり 栄養サポートやまと 社会福祉の会やまと
60	2013年12月14日	土	14:00	活動の展開から見えてきたもの ～活動の継続には何が必要か～	地域家族しんちゃんハウス ふくしの手全員集合 ドラマティックカンパニー ケアびーくる
61	2014年1月29日	水	14:00	市民活動・NPOのいまどき ～「インターネット」広報事情の基礎!～	山田泰久
62	2014年3月19日	水	16:00	市民活動のために「書くこと」にこだわってみよう ～このセミナーにヒントがあります～	鈴野和重
63	2014年5月31日	土	14:00	市民活動を広げるために「活動の伝え方」に、こだわっ ～クリアファイルを使って、活動を伝える～	拠点やまと
64	2014年12月6日	土	14:00	伝わる企画書をつくろう ～やりたいことを言葉にしよう～	大谷光久
65	2015年3月18日	水	14:00	想いを伝えるCM動画をつくろう ～感動を与え、共感を得る～	望月則男
66	2015年6月20日	土	14:00	活動計算書の作り方 NPO法人のための業務チェックリスト	板倉幸子
67	2015年9月27日	日	13:30	まちづくりワークショップ ～“気づき”“出会い”から“新たな活動”を～	沼田真一
68	2015年12月13日	日	13:30	まちづくりワークショップ ～ OTM法 アイデア検討 ～	沼田真一
69	2016年3月13日	日	13:30	“気づき”“出会い”から“新たな活動”を ～まちづくりワークショップ」いよいよ最終回!～	沼田真一
70	2016年5月10日 2016年5月23日	火月	13:30 13:30	居場所先進地 希望が丘 ～ 4ヶ所+ α 見学ツアー ～	見学ツアー
71	2016年6月19日	日	13:30	自分サイズの箸と箸袋を作ろう! ～ 実践 お箸作り・箸袋づくり ～	茂木義明 長野富喜子
72	2016年6月30日	木	14:00	マイナンバー制度も始まった! ～ 情報管理に必要なコト! 教えます! ～	金田和弘
臨時	2016年7月17日	日	10:00 15:00	2011年3月11日の大災害! ～ アニメ映画『無念』上映会 ～	浪江まち物語つたえ隊 市原信行
73	2016年9月17日	土	14:00	薬&薬局との上手な付き合い方 ～ 薬の基礎編 ～	岡崎久代 井上芳子
74	2016年10月15日	土	14:00	薬&薬局との上手な付き合い方 ～ 気楽に相談できる、顔の見える関係 ～	岡崎久代 井上芳子
75	2017年1月28日	土	10:00	「人の集まる魅力的な企画」の立て方 ～ 仕組みづくりと仕掛けづくり ～	杉下由輝
76	2017年7月8日	土	13:00	居場所としての なないろ畑 ～ 「なないろ食堂」が目指すもの ～	片柳義春
77	2018年11月18日	日	10:00	私達の活動拠点を見て下さい! ～ 活動を広げる為の市民活動センター活用 ～	高島浩子 弘中健一 土屋翁三
78	2018年11月25日	日	13:30	「みんなで話し合い」「みんなで情報交換」 ～ 部室(市民活動ブース)活用団体 ～	小林香織 平田美智子 松本和美
特別	2018年12月9日	日	13:30	“健康”を語り合う! ～ チャレンジ精神は 日頃の健康な生活から ～	松下沙織
79	2019年3月10日	日	13:30	第2弾! エベレスト登頂記 ～健康管理法～ ～ ころとからだかたが楽しむ健康法 ～	松下沙織

80	2019年4月14日	日	13:30	世界が驚愕した 日本の伝統「宮彫り」 ～日本の技術の結晶！皆で後世に残していく為に～	上田康史
81	2019年5月12日	日	13:30	ひたすら笑って 楽し～い 気分♪ ～ 毎日の生活に今日から”わらい”がお友達！ ～	内田哲世
82	2019年6月16日	日	13:30	”腹式散歩” を楽しむ ～ 身につけて 健康な生活を ～	川崎隆央
83	2019年7月23日	火	10:00	エネルギーを！ 地産地消を！ ～ 再生可能エネルギーって？ ～	小山田大和
84	2019年9月8日	日	10:00	御朱印集める だけじゃない！ ～ 楽しめる 御朱印帳づくり ～	中野純子
85	2019年10月16日	日	13:30	知れば知るほど好きになる！ 更年期を「好年期」にかえる「好年期」のカラダづくり講座	小林香織
86	2019年11月17日	日	13:30	Origami! ワクワクを形にしませんか ～ 人生豊かに 自分時間のすすめ ～	ながた ひろふみ
87	2019年12月8日	日	13:30	たかが箸、されど箸の箸学「祝箸」 ～ 正月祝箸の話と折形(おりがた)体験 ～	平沼芳彩
88	2020年1月19日	日	13:30	知っていますか？ スペシャルオリンピックス！ ～パラリンピック、デフリンピック、をして”スペシャルオリンピックス”の違いは？～	杉下由輝
89	2020年2月7日	金	13:30	五味さんのゴミひろい -part2- チャレンジな活動 ～引地川の清流を取り戻す！～	五味尚生
90	2020年8月25日	火	13:30	オンライン(ZOOM)共育セミナー 箸育(はしいく)講座～いつから始める？箸トレーニング～	平沼芳彩
91	2020年10月24日	土	13:30	オンライン(ZOOM)共育セミナー 五味さんのゴミひろい ～引地川の清流を取り戻す！～	五味尚生
92	2020年9月24日 2020年9月28日 2020年10月2日 2020年10月7日	木 月 金 水	13:30 13:30 13:30 13:30	ZOOMを習って ～ オンライン共育セミナーをのぞいてみよう ～	吉浜 学
93	2020年11月28日 2020年12月3日 2020年12月7日 2020年12月11日	土 木 月 金	10:30 13:00 10:30 13:00	ZOOMステップアップ講座 ～ 「部屋づくり」側の管理人になってみよう ～	吉浜 学
94	2021年3月23日	火	10:00	昨年のカッコーフェスタ'20は ～今年 WEB動画配信 となって羽ばたいています～	吉浜 学
95	2021年6月22日	火	10:00	私たちの「子ども食堂」こんな活動しています！！ ～各団体の活動報告を聞いて、意見交換しましょう～	わにわに食堂 たまめし食堂 スマイルダイニング 船越英一・関根孝子
96	2021年7月20日 2021年7月28日	火 水	14:00 14:00	あなたの”スマホ”でZOOM共育セミナーに入れます ～ 初心者 スマホZOOM講座 ～	吉浜 学
97	2021年10月16日	土	14:00	ウイズコロナ、ポストコロナ時代の社会貢献活動 その1 青少年、外国人を取り巻く状況と課題	小川杏子 石川和友 坂上周平
98	2022年2月12日	土	10:00	ウイズコロナ、ポストコロナ時代の社会貢献活動 その2 街場にアートを、音楽を、資源と人を活かす	水口 恵子 望月 則男 小山 紳一郎
99	2022年7月23日	土	14:00	ウイズコロナ、ポストコロナの時代の社会貢献活動 その3 トークセッション 「福祉施設におけるアート活動の実践」と「この実践が社会と出会うということ」	中津川浩章 萩原美由紀
100	2022年10月29日	土	13:30	ウイズコロナ、ポストコロナの時代の社会貢献活動 その4 第100回記念トークセッション 多様化する社会に生きるということ	松本義弘 永井圭子
101	2023年2月18日	土	14:00	ウイズコロナ、ポストコロナ時代の社会貢献活動 その5 スローコミュニケーション すべての「伝えたい」が歓迎されるまちへ	那須かおり
102	2023年6月24日	土	14:00	ウイズコロナ、ポストコロナの時代の社会貢献活動 その6 農山村暮らしで体感したことを伝えたい 「緑のふるさと協力隊」(岩手県一関市花泉町)に参加して	尾畑翼
103	2023年7月15日	土	13:30	感染症に負けない体づくり！	宮崎紗也加
104	2023年8月15日	火	14:00	痛みってなんだろう 痛みを知れば社会も人も変わる	江原 弘之
105	2023年11月18日	土	13:30	つながり 支え合う 地域づくりを目指して	芝原 重喜
106	2024年2月17日	土	14:00	こども・わかもの参画 地域活動拠点に 求められるもの	鈴木 真司 小川 杏子 船越 英一
107	2024年 7月 6日	土	14:00	子どもも大人もともに育ちあう「場」づくり の 大切さを、みんなで考えてみませんか！	伊知地 るみ
108	2024年 9月 21日	土	14:00	トラブル続きの多国籍団地が、みんな 楽しく暮らす「小さな合衆国」になったよ！	遠藤 武男
109	2024年 11月 2日	土	14:00	不登校・ひきこもり・ニート問題等 つまづいたから見える景色がある。 その景色の先には、希望の”ぜんしん”があった！	柳川 涼司
110	2025年 2月 1日	土	14:00	スティック競技で子どもたちの”孤立”を防ぐ、 そして、スポーツを最高に楽しみながら、大和市から 世界を目指すプレイヤーを育てる！	佐々木 慎吾



“拠点やまと”メンバーの思い出



平成30年
2018年4月移転



白井 博（1年選手♪ 元 選挙管理委員会事務局 職員 ”見習い期間”も無くドボンと仲間入り）

20周年！ みなさんへの感謝の想いと、私には、ふっと微笑んでしまう懐かしい思い出がよみがえります。

設立当時、私は市役所で、市民活動センター設立の「協働の拠点運営委員会」の担当をしていました。

その当時、委員のみなさんは本当に熱くてパワーがあり、委員会で激論になることもしばしばでした。



私たちが、「市は、市民活動の意味や大切さを分かっていない！」とよく怒られました。

しかし、嫌な気分になったことはなく、真剣に怒られることは新鮮で、新しい考えや活動などに視野が広がり、スタートに携われて本当に楽しかったですね。

20年経って、また市民活動センターに戻ってこれることができました。

この素敵なお縁に、感謝、感謝、感謝です！

佐々木 優韻（3年選手♪ 中国語（母国語）英語（カナダIT会社）堪能なマルチタレント

一言 二言 あ～ うるさい！

……谁写的😞（誰が書いたの?!）怪文書を発見して一瞬フリーズ。でも、ふっと考えたらピンときた。これは絶対、望月会長のいたずらだ！あのニヤリとした笑顔が目に見え……。哈哈大笑😂（ハハハ！）望月会長といえば、まさに「才华横溢」（才能あふれる）という言葉がピッタリの人！イラストを描き、マンドリンを奏で、



プログラムまで組めちゃうスーパー多才マン！しかも、その心の広さは太平洋級…

そんな素晴らしい方と一緒に仕事できたことは、私にとって本当に幸せな思い出です♪ No Humor, No Life 🍀

拠点やまとが20周年を迎える今、これまでの出会いと経験に感謝しながら、これからも笑顔とユーモアを忘れずに進んでいきたいと思います！

加油👊（頑張る!）

船越 英一（4年選手♪ 元 大和市職員 ……写真を撮る！ 画を描き上げる！ 情熱の男！）

ぼくは、大和市役所勤務の現役時代、公民館施設、男女共同参画、多文化共生、文化芸術、青少年、平和、人権、国際交流などの現場で記録用にカメラを扱う機会が増え、その後、モノクロ写真を撮るようになり、女子美術大学の社会人向けセミナーで、モノクロ写真の現像技術も学びました。その時、初めて全紙の大きさに自分で焼いたのが「真夏に逝ったセミ」でした。教授に「次回は別の物を撮ろうね」と言われたのも、もっともな指摘でした。その後、銀座プランタンのカル



チャー教室で、写真家の篠利幸さん（故人）と出会い、写真の基本を学んだところ、ワインもイタリアンもイタリア旅行もついてきました。

その結果「目の前で出会った自然、人、できごとを捉えて、その瞬間を感性で記録する」という人になりました。以上、個人的なことを書きましたが、これからは「遊び人」を自認した「幸せ配達中間支援人」でいられるよう、気負わず、いろんなところに出没して、多くの人と出会って、互いにウィンウィンの豊かな人生となるよう風の人を続けます!!

辺見 弥生 (7年選手♪ …上品で親切… 来館者も つい指名したくなります)

センターにお世話になり始めたのはベテルギウス移転前で、連日団体の個性的な方々が訪れ大賑わい。初めはなにがなんだか分からない状態でしたが、石川さんの後を受けFM やまと担当になりスタジオトークで活動に向けるゲストの方の深く熱い想いを伺う機会を得ました。お話に聴き入って感極まり、HP 用の原稿



作成のペンを忘れてしまうことも何度か…「ひとりの想いが仲間を集め形になり活動を続けていく」ちいさなはじめの一步が他のどなたかへの喜びと希望のプレゼントになる…なんてとても素晴らしいこと。団体の方々とセンタースタッフの先輩方(ひたすら優しいのです)の想いにも猛烈に感動し続けています。

櫻井 美紀子 (12年選手♪ え〜と あれ何処だったっけ? 先ずは彼女に聞いてみて下さい)

当時スタッフだった石川さんから、週に1日でもよいから…と声を掛けられたのは2013年の7月。彼女は会うといつもセンターの活動を熱く語っていました。時間的な余裕はあまりなかったのですが、興味を持ったので何とかなるかと受けました。勤務にはそれほど入れなかったのですが、お役に立っていたかは??ですが、私にとっては



知らないことを知る良いチャンスとなりました。最初に知った言葉は「協働」。センターが協働事業で運営されていること、大和市がその先駆的な自治体であることも。そして、市民活動をしているみなさんの支援に市民目線が入ることの良さもわかりました。しかし、協働事業をよりよいものとして続けるのは結構難しいものだと最近では思っています。

望月 則男 (18年選手♪ “一般公募”で仲間入り、都合で2年間“サポーター”として働きました。)

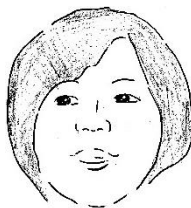
2004年11月2日「開所式セレモニー」が行われました。右も左も分からない新人でした。また長い勤務からの“会社人間から社会人間”でしたので、環境の変化に戸惑っている最中だったのかも知れません。今でも忘れられない言葉があります。招待客の一人が傍に寄って来て「ここは長くは続きませんよね!」エッ? 失礼な! 今日はおめでたい開所式なのに… 何ていう事を!



その頃は“市民活動とは?” みんなで解決しよう!“を熱く語る雰囲気でしたので、特に気にせず 長い年月が過ぎました。今はハッキリ分かってきました。”漕ぎ手が少なく、船頭さんの多い船出“の事を言っていたのだと思います。事実、私は事務局が”市民活動課“? だと勘違いして原稿やイラストを市役所?に持って行ったのを思い出します。

関根 孝子 (20年選手♪ 設立当初から…いえ、立ち上げ前の“準備委員会”からのメンバーです。)

NPOに興味があり、条例検討の時から傍聴に行っていました。協働推進会議が発足してからは事務局ボランティアとして、ニュースレターを出して、大和市の協働を発信していました。そうそう名前は「あの手この手」。当時の職員も手探りで、日付の変わるころまでメールのやり取りをしながら一緒に仕事をしていたのを思い出します。



準備委員会の際はプレハブの物置?をみんなできれいにし、色々なところから廃棄品を集めて、(旧)市民活動センターの体裁を整えました。ボロは着ても心は錦の建物でした。センターがオープンしてからは副会長として、その後、会長もやったり、私も年を重ね、お局様になりましたが、新しいことに挑戦する元気も残っていますよ!

拠点やまとメンバー

櫻井 美紀子
佐々木 優韻
白井 博
関根 孝子
船越 英一
辺見 弥生
望月 則男 (会長)

大和市民活動センター20年のあゆみ

発行日：2025年（令和7年）2月16日 発行： 拠点やまと

大和市民活動センター TEL 046-260-2586 FAX 046-205-5788
〒242-0018 大和市深見西一丁目2-17 e-mail :yamato@ar.wakwak.com
URL: <http://www.kyodounokyoten.com/>